

Asian Discipleship Summit 2016

レッスンノート



2016

Asian
Discipleship
Summit

June 16 - 19

BALI NUSA DUA CONVENTION CENTER

目次

<全体>

1. オープニングレッスン p.3-
2. 礼拝説教 p.6-
3. 兄弟全体レッスン p.11-
4. 姉妹全体レッスン p.14-

<6/17 兄弟クラス>

5. 祈りの勇者になる p.18-
6. どのようにすべての人の友となるか p.20-

<6/17 姉妹クラス>

7. 祈りの勇者になる p.25-
8. 神様との関係を真に楽しむ p.28-
9. 健全で愛深いディサイプリング p.32-

<6/18 セッション1>

10. イエスに従う大胆なキャンパスの弟子になる p.36-
11. イエスに従う大胆なシングルの弟子になる p.38-
12. フルタイムの漁師とはどのようなか? p.41-
13. 0-10歳の保護者クラス (山崎夫妻、シム夫妻) p.47-
14. 11歳以上の保護者クラス GEP (ルイ夫妻) p.48-

<6/18 セッション2>

15. 0-10歳の保護者クラス GEP (ルイ夫妻) p.61-
16. 11歳以上の保護者クラス (Wong 夫妻, Chern Yang & Yvette Leow) p.64-
17. ジュビリーイヤー (子供が巣立った親、成熟した独身者、シニア)
の大胆な弟子 p.67-
18. アジア中のミッションにおける冒険談 p.70-
19. プレシヤスウーマン p.72-

<6/17 オープニングレッシン>

“Come Follow Me and The Truth Will Set You Free”

「わたしについて来なさい。真理はあなたたちを自由にする。」

ショーン&レナ・ウーテン (キエフ、ウクライナ)

①来なさい Come

神様は私たちと語りたい

マタイ 5 貧しい人は幸い

飢えていたら食べ物をほつする。

飢える、貧しい人が必要

1 コリント 2:10

わたしたちには、神が“霊”によってそのことを明らかに示してくださいました。

“霊”は一切のことを、神の深みさえも究めます。

神の霊はどんなふかいところも触れられる

1 ペテロ 4:7

万物の終わりが迫っています。だから、思慮深くふるまい、身を慎んで、よく祈りなさい。

思慮深く振る舞う

まず神様が愛してくれた。

実を慎む一忍耐する

カンファレンス中の、最も重要な時間は、人と過ごす時間じゃない。

祈る時間。神様との時間。

人生が変わる。

これまでの特別な時間を祈っているか？

救われるとき、弟の救い、ミッションチームに行くとき。

息子娘が生まれた日、バプテスマを受けるとき

ウクライナの内戦。
レナ・ウーテン シェアリング
モスクワの最初の3ヶ月で救われた。
私は祈りの答えだった。

②留まりなさい Hold

ヨハネ 8:31

イエスは、御自分を信じたユダヤ人たちに言われた。「わたしの言葉にとどまるならば、あなたたちは本当にわたしの弟子である。

とどまる
聞き従うことをあきらめてはいけない。

祈りについて、人間関係、子育てについての最もすばらしい本
聖書。

ルカ 5

シモンは、「先生、わたしたちは、夜通し苦労しましたが、何もとれませんでした。
しかし、お言葉ですから、網を降ろしてみましよう」と答えた。

教会が成熟するなかで、もう知ってる、という態度がある。

もうやった、やってもうまくいかなかった。
釣れないよ。
やりたいことをやりたいときにしかやらなくなってしまう。

イエスが言ったのは、obey。

医者になろうと思っていた。
でも人の前で話すこと、外国語が必要だった。だからあきらめてエンジニアになろう
とした。
しかし(いまどちらもやっている。)神によって可能。

義に飢え乾く人が幸い。義に満ちている人が幸いじゃない。
イエスのようになりたいと情熱的

神様の恵みが補ってくれる。完璧じゃなくてもいい。

キエフの教会を立ち上げたとき。
気持ちがどうあってもただ聞き従う。

③自由にする Free

ヨハネ 8:32

あなたたちは真理を知り、真理はあなたたちを自由にする。

バプテスマ 古い自分はいなくなった。
いまはあなたが神殿。聖霊を持っている。貧しかったがいまは豊か。
みなさんほど豊かな人はいない。

1 ヨハネ 3:1

御父がどれほどわたしたちを愛してくださるか、考えなさい。それは、わたしたちが神の子と呼ばれるほどで、事実また、そのとおりです。世がわたしたちを知らないのは、御父を知らなかったからです。

がんばって戦って手にいれるものでなく、もう得たもの。
それを信じる必要がある。
自分の目でみていくと、

あきらめてはいけない。家族の困難、内戦とか関係ない。
始めたことを終わらせなさい。
イエスについていったら、イエスのいるところにいる。

いつかバリで、東京で、ラッパの音を聴く。多くの天使たちを見て、イエスが来るのを見る。

あなたを誇りに思っている、よくやった、
その日のために生きている。

<6/19 礼拝説教>

“Come Follow Me to Eternity” Harliem Salim

「永遠にわたしについて来なさい」ハーレム・サリム

今日がカンファレンスの最後。

この時間はいつまでも続かない。

カンファレンスが終わって、信仰を悪魔に奪われてしまったら残念。

変わることを決心して欲しい。

決心すれば、私たちの心は変わる。

このカンファレンス、650人のインドネシアの弟子たちが作り上げてくださった。

昨日の夜も寝ずに準備していた。素晴らしい。

私たちはいつか必ず死ぬ。

永遠に一緒にいられるよう、私についてきなさいとイエスは言う。

でも、気を付けて欲しい。最後までついていくのは難しい。

タイタニック、この船が沈むことは誰にも想像が出来なかった。

氷山に衝突して沈み、千五百人以上の死者が出た。

振り返ると2つの問題点があった。

・危険があった時、お客様への案内が遅れた。

・氷山が近くにあることについて、周りの船から注意を受けたが、船長に伝わらなかった。

そして、十分なゴムボートがあるのに少人数しか乗らないまま、どんどん離れていった。

ボートに乗った人がパニックしていたから。

これを考えた時に、私たちはいくつかの真理が知れる。

イエスは私たちの罪を許してくれた。

でも、あなたは生まれ故郷に戻って人々に手を差し伸べますか？

※あなたは信じていますか？

1. イエスが言ったことはイエス自身であること
2. イエスが言ったことは必ずできること
3. あなたが言ったことはイエスの言葉であること
4. 彼を通して全てのことが出来ること

子供が小さい時、ディズニーランドに行くのが大好きだった。

大人も最初は楽しめるが、2回目3回目は違う。。

子供はみんなとても、楽しんでいる。喜んでいる。

ディズニーランドにいるのはお姫様と本当に信じている。

そして、プリンセスと写真を撮っている。

子供の目を通して見ると凄いこと。

子供はサンタクロースすら信じている。

自分はどうでしょうか？

子供たちは興奮しているが、自分たちはそうではない。悲観的。

みなさんに勧めたいのは、子供が見るようにみること。

「あなたは信じていますか」と聞かれてはいと答えられた時に、あなた方は変わるでしょう。

『永遠にわたしについて来なさい Come Follow Me To Eternity』

1. 私はあなたと共にいて、あなたは私のもとに帰ってくる

2. あなたはイエスを証しする

3. 彼らはイエスを信じる

もし、イエスが心から生きていると信じていないと証し出来ない。

マタイ 28 : 18-20

この言葉を弟子はイエスから聞いて、完璧にイエスと歩む決心をした。

イエスはミラクルを示された。それだけでは足りない。

あなたは天と地の一切の権能を授かって、イエスがいつも共にいる。

行け、やりなさいだけでは十分ではない。

大事なことは、イエスが共にいること。

代弁者をイエスは送っている。

イエスが共に歩んでくれる。

よくこう思う。イエスがここにいればいいのにと。

でも、イエスは心の中にいてくれる。

ヨハネ 14 : 3、18、23

イエスは何度も繰り返し、あなたは私と共にいると言ってくれている。

私は自分の人生がマンネリ化している、自分の力に頼ろうとしていると感じた時、出エジプトを読むようにしている。

出エジプト 33 : 1-4

この聖句は4節でこう言っている。

民は悪い知らせを聞いて、飾りを身につけなかった。

神様が一緒に行かないと言った。

神様が共に来てくれないので喪にふした。

神様が一緒にいない状態で満足していませんか？

今回はいいカンファレンス。夫婦関係、親子関係などを学べた。

神様の信仰が他に違うのは、生きた信仰が大切であること。

残念ながら、世の中のクリスチャンはこれで満足で終わっている。勘違い。
本当にキリストに生きているのはイエスのみ。
イエスのようにならなければ出来ない。
イエスが共にいてくださること、感じていますか？
私たちは自分の国に帰って、どうなるかわからない。
でも、イエスがくれたメッセージがある。私はあなたと共にいる。
私たちはイエスの教えを持ちたいと言いながら、そうしないのはあり得ない、
ヨハネ 15：1-10

イエスには 12 人の弟子がいて、よく繋がっているように見える。
実は繋がっていない。ユダをイエスは愛したが、逆はない。
4 節、私に繋がっていなさいとイエスは言っている。
繋がっていない枝は切り捨てられてしまう。
神様がいつも働いている。それは当たり前ではない。
大切なのは、キリストに繋がること。
私たちはキリストに繋がらなければなにも出来ない。
イエスから離れていても、世の中の人々は幸せだと言っている。
でもイエスは、豊かな実と言っている。
この実からしか幸せは得られない。
悪い枝は切られてしまう。
でも、豊かになっていくことは少し怖いと思ってしまう時がある。
自分の人生の枝を神様は切る。
神様はあなたを清くしたい。痛みが伴う。
兄弟姉妹から叱られると辛い。
でも、実を結ぶためにはチャレンジされた時に心を守ってはいけない。
これは辛い。でも、神様はあなたを通して働きたいと考えている。

ヨハネ 15：7-11

約束 1：イエスと繋がっていれば、あなたの祈りは必ずかなえられる。
約束 2：あなたの父、神様は栄光を受ける。
約束 3：あなたが証ししていることは明らかであり、それで弟子であることが証しされる。
約束 4：大事なことはイエスが私たちの中に生きていること。

ヨハネ 15：26-27

私はかつて、別の教会でバプテスマを受けていたが、確信が弱かった。
弟子になってすぐ、3 人伝道して救われた。
ヨハネ 16 章を私を助けてくれた人が読んでくれた。

あなたの聖霊が証ししないなら、誰が証しをするのか？

あなたが証しする必要がある。

次の質問を考えていきたい。

クリスチャンとして、最も人に影響できることは何ですか？

私は何度も病院に行ったことがある。

病院では、人が何人も亡くなる。

この人は救われているか、神様の教会を知っているか、考えさせられる。

救われていないとわかったら、導きたい。

救いのためには、大統領でも医者でも社長でもなく、普通の兄弟姉妹が必要。

誰のことですか？皆さんのことです。

世の中は失われているから。

地獄はあることを、確信している。

あなたが宣べ伝えないと人は救われない。

クリスチャン同士で一生懸命働いている。

弟子の交わりはいいが、弟子だけで固まっても宣べ伝えられない。

会社でも宣べ伝えましょう。タイミングを図りすぎずに。

船、最新型と古いのどちらを好みますか？

(上に古い釣り船、下にクルーズ用の最新の船の写真)

最新の船、綺麗で特別な機能がある。でも深いところには行けない。

古い釣り船は、深いところでも行けて少々の波風には耐えられる。

私たちは釣り船に乗るように呼ばれている。

教会は釣り船のようですか？それともクルーズのようですか？漁師は何人いますか？

何も釣れなくても構わない。

イエスがいったのは、漕ぎ出して網をうつこと。漁師になること。

私たちは漁師になっているか、楽をしているか。

私たちはイエスを証ししていますか？

何を伝えているか？

1. 良い人
2. モラル
3. 良い結婚関係
4. 良い親子関係
5. 福音と悔い改め

これら、特に5番を人に伝えていなければメッセージがない。

生ぬるく、人をただ喜ばせるだけになってしまう。

シンガポールは、美しい。

暫く住んだことがある。

タクシーに乗ると、いい街と言っても「そんなことない」と言われる。

「洪水にならない、穴が空いていないし」

タクシーの運転手がネガティブだった。

ジャカルタに来てください、こんな風ですよ、と大洪水の写真などを見せた。

いい大統領、いい政治家になって良くなって来た、と伝えた。

ジャカルタで、前よりも洪水が減り、道路のボコボコが修理されたことをグッドニュースと考えている。

シンガポールの人、その綺麗さに感謝がない。常に当たり前となっている。

祝福、福音が当たり前になっていませんか？そうやってはいけない。

ヨハネ 15 : 18-19

私の祈りは、教会が操られたりしないこと。

イエスの弟子であれば、世の中に迫害されることがある。

キリストを宣べ伝える良い方法はこの聖句を確信すること。

あなた自身が変わられた話を確信を持って伝えてください。

そこには、口論の余地がない。

10 数年前の救われた話だけではなく、最近の悔い改めの話もしてください。

イエスに出会って人生が変わって、結婚関係が変わって、今後は人生変わらないでは違ふ。

皆さん、私たちは過去よりも今の方が作り変えられているはずでしょう。

(バーニヤシェアリング)

ある人は子供を通して、問題が明らかになった。子供が教会を好きだから。

飛行機で学び会向けのレッスンを書いていた兄弟が、隣の人に声をかけられた。

職業が建築家という繋がり関係ができ、その夫妻はカンファレンス初日にバプテスマを受けた。

ある兄弟が自分の祖母を教会に招き、クリスチャンになった。

彼女はおしゃべり。友達をどんどん招き、多くの人たちの救いがあった。

彼らは皆、友達を導きたいと祈りました。

神様はシンプルな状況で働いてくださる。

ヨハネ 15 : 12-17

ヨハネ 17 : 20-23

私一人ではこのような力を持っていない。

人を助けるのは大変。一つになる必要がある。

ヨハネ 17：23、弟子たちが完全に一つになることで世の中が神様を信じると書かれている。

ティーンが LIFE という雑誌の表紙の子供を見て、彼らが飢えていることにショックを受けて、牧師に聞いた。

神様はこのことを知っているの？と。

牧師は神様は何でも知っている、と答えた。

そのティーンはその教会から去っていった。

そのティーンとは、スティーブジョブズ。

彼はクリスチャンが世の中を変えるのではなく、自分で世界を変えようと考えた。

彼は、世の中を変えた。でも、人の魂を救えたか？

救えていない。イエスだけが人の魂を救える。

<6/17 兄弟全体レッスン>

“Come Follow Me and The World will See”

「わたしについて来なさい。世がそれを見るでしょう」

Lubin Tan (シンガポール) & Moses Sinukaban (インドネシア)

<Lubin>

ヨハネ13:34-35

イエスが愛したように愛する＝イエスに倣う

自分にフォーカスするのではなく、人にフォーカスする

ヨハネ13:1-7, 14-15

謙虚に人々の人生に関わった

肉体的に触れなくても、癒せたのに触れた

距離を保ちながら、愛そうとする兆候

- ・ただチャレンジ、正しいことを話して変わることを期待する
- ・深い問題を話すことを避ける

イエスはいつも人々の人生に入り込む

- ・自信のなさ、恐れ、すべてを捨てて人を愛することにフォーカスした

友達の話し

不信感から人を愛することを妨げられていた

一緒にマラソンした

心を開いた会話ができる

何が助けられたと聞いた

答えは、

一緒に時間を過ごし、家族や神様との関係について聞き続けてくれた

ネガティブな感情に支配されるときも、忍耐し、近くいて、黙って聞いてくれた

自分が重要なことを感じられた

自分から人にフォーカスするとき

- ・個人的にとらない
- ・忍耐する
- ・人生に触れられる

ルカ5:29-32

見下している人々と一緒に食事をして、歓迎されていると感じさせた

自分にとって関わりたくない人は誰か？

マルコ8:16-17

イエスは忍耐して、目的をもっていった

常に考えるべきは

人々が神様を知り、人格において成長することを最も助けられることは何か？

心の層を切り込んで、心のコアに正しいメッセージを留める

- ・どんな言葉
- ・どんなトーンで語るか

×相手がどれほど自分を好きか、ではなく

○どうしたら相手をもっとも助けられるか

「Gentle Pressure Applied Relentlessly」

惜しみなく、やさしいプレッシャーを与え続ける

忍耐強くないとき、プレッシャで人を潰してしまう

鍵：Relentlessly 惜しみなく

かつての傾向

ミニストリーリーダーが喜んでいる限り、自分はよくやっている
→リーダーとして、無意識にそれを奨励してしまう
自分の言った通りに人がすることを喜ぶ

リーダーではなく、正しい目的のために導く
★神様を知る
★キリストのような人格に成長する

<Moses>

何が一番タッチしたか？教会に初めてきたとき
説教？プログラム？音楽？賛美歌？建物？

「愛」

世の中にもっとも影響を与えるもの

ヨハネ13:34-35

私の父は古い教会の執事だった。

彼は私たちに毎朝5:30にQTを取ることを教えてくれた。

周りの人々から私たち家族は尊敬された。

周りには良く見えていた。

ある夕食の席で、父が兄に聞いた「車で送ってくれる？」

兄はその時、自分は自殺したい、と語った。彼は鬱で、セラピストに診てもらっていたが変わらなかった。

自分の家族に何が起こってしまったのか、と思った。

何かが間違っている。

愛が欠けている。

愛によってすべての人が知る。

互いへの愛が、私たちがイエスの弟子であることを証する。

すべての家族には愛が必要

イエスが言った：世の中は弟子から「愛」を学ばないといけない

①具体的な愛の行動 Specific acts of love

教会に来たとき、感動した。

ある兄弟は車で帰ることを断り、バスに乗って一緒に帰ってくれた。

教会では、違う民族の人など、多くの違いがあるのに一致していた。
教会の中で衝突を解決していた。

愛の行動によって証明する
イエスの弟子であることを
証がないから、キリストを知ることができなかった

②イエスの愛の行動に倣う **Imitate His acts of love**

ヨハネ13:14-15

もっとも汚い、触れたくない人の部分は？

- ・ 高慢さ
- ・ 自信のなさ

嫌いだった教授が聖書学び会に参加してくれた。
弟子の関係の中の愛を見て、聖書を学びたいと言った。
バプテスマを受けて弟子になった。

弟子達が互いに愛しあう姿によって、イエスがリアルになる

<6/17 姉妹全体レッスン>

“Come Follow Me and The World will See”

「わたしについて来なさい。世がそれを見るでしょう」

Sarah Setiawan(インドネシア) & **Yow Wei Ching**(シンガポール)

Sarah Setiawan

- ・ イエスに従う、イエスを主とする＝イエスの権力の下にいる
- ・ (ヨハネ13:34-35)
- ・ 弟子たちは何度もこの愛の教えを聞き、何も新しいことではなかったはず。
例えば(レビ記19:18)でも愛することについて説いている。
では、なぜイエスはあえて「新しい掟」と言っているのか？
- ・ イエスの自分自身を犠牲にして愛する愛。これが今までにはなかった教えである。
- ・ キリストがわたしたちを愛したようにわたしたちも人を愛する。自分自身を愛する
ようにではない。

1. イエスが愛することの模範

- ・イエスの伝えている愛の質・深さとは？
- ・周りにも親切で優しい人はたくさんいる。では、わたしたちと彼らの違いは？
- ・マハトマ・ガンジーの言葉

「イエス キリストは好きだがクリスチャンは好きではない。クリスチャンはキリストとは違い過ぎている。」

この言葉は悲し過ぎる。

- ・あなたにはキリストのような愛がありますか？
 - ・キリストのような愛とは、謙虚・寛大・自己犠牲。そして時に弟子に対して厳しい。
 - ・互いにこのようなキリストの愛で愛し合っているか？
 - ・自分の殻を破って更に深く愛しているか？
 - ・相手に罪が見えた時、キリストの愛を持って悔い改めるよう伝えているか？
 - ・イエスは周りの人をつなげるために彼らのためにたくさんの時間を費やした。迫害を受ける恐れがあったが、イエスはファリサイ派、つまりイエスに反対している人たちの家にも行った。そこまでして、彼らと関係を持ちたい事を示した。
 - ・イエスは時間を有効的に使った。
 - ・わたしたちは同じ学び会の姉妹たちの過去や生い立ちに興味を示しているか？
- 霊的や感情的に深く繋がっているか？
- ・教会の外の人との関係はどうか？

SNSなどあらゆる機会を使って周りの人と繋がろう

2. イエスはリスクを負って人を愛した

- ・サマリアの女性に話しかけた
- ・安息日に人を癒した
- ・徴税人や罪人の家に行った
- ・弟子を叱り、信仰を試し、教えた
- ・イエスは境界線を越えて、リスクを負って、あなたを愛した
- ・わたしたちは他の姉妹に対してリスクを負って深い質問をするか？聖句でチャレンジをするか？もしくは、安全地帯に留まっているか？
- ・自分に対して苦手な人の事も愛する努力をしているか？もしくは愛しやすい人とだけいるか？
- ・中には、相手と繋がりや関係がないまま、チャレンジを与える人がいる。
- ・多くの場合はリスクを取らず、表面的な関係になっている
- ・自分の罪を告白し、本当の自分を相手に見せる勇氣はあるか？

・わたしたちには見えにくい視覚がある。だから互いに伝え合う必要がある。その関係を避けていないか？

・人を愛する妨げとなっている物は何か？

傷付き、否定されること？

・人との衝突を避ける＝人との深い繋がりを避ける

・痛みが伴わなければ、何も得られることはない (No pain, no gain)

・困難に遭い、傷付き、苦々しくなり、あきらめなくなるとき、イエスはあなたのその歩みに共にいてくださることを覚えよう

・イエスはわたしたちにあきらめないうで、前に進み続け、ベストをイエスに捧げ続けるようにと言っている。

・価値ある物は何1つ簡単には手に入らない。

・世が見えるようにイエスに従っていきましょう。

Yow Wei Ching

イエス：わたしたちの愛する源

・イエスは死ぬ前夜、弟子の足を洗った。裏切者の足でさえも洗った。

・イエスは死ぬ直前でも絶えず、自分よりも人を愛した。

・イエスはわたしたちと同じ人間であったにも関わらず、群衆・信者・ファリサイ派・律法学者・弟子と常に接していた。

・イエスは愛を枯らすことなく、彼らを愛した。

・(ヨハネ13:34-35) (ヨハネ15:9)

この2つの聖句は共に “As~ (～したように), so~ (だから～)” という表現がされている。

・イエスは神様から愛するエネルギーを得ていた。

・イエスの愛の方程式

天の父>イエス>わたしたち>ほかの人

・神様は常に愛に満たされている。イエスはその神様から愛を充電する事でいつも愛の充電が100%だった。

・イエスのアガペーの愛は世間から排除された人やニーズのある人を癒した。

・イエスの愛に偏見はなく、止まることはない。

・イエスが神様から愛をもらうお陰でわたしたちはイエスからその愛をもらうことが出来る。

・アガペーの愛とは、例え自分にとって困難な状況でも愛すること。なぜなら、もはや愛する動機が自分のためではないから。

・（フィリピ4:13）

・イエスを通して人を愛する必要がある。

・そこから自由・喜び・満足が与えられる。

・わたしたちはイエスの弟子である。愛しやすい人だけを愛するのか？それとも難しい人こそ神様の力に頼って愛するのか？

・家族・学校・職場で愛しにくい人の事を思い浮かべてみて。

・拒絶されることに対してどう対処するか？痛みを避けてしまうか？

・言葉・行動・裏切りによって傷付けられた相手をどう愛するか？

神様がわたしたちのリーダーであることを覚えなさいといけなさい。

イエスの愛がわたしたちを満たしてください。

・世の中はイエスのアガペーの愛を必要としている。

・わたしたちが最も困難な時でも人を愛し続けることで世はわたしたちの違いに気付いてくれる。

・（ヨハネ15:11）でイエスはわたしたちの喜びが満たされる（完成される）ことを約束している。

・イエスの愛で愛するために助けとなる4つの方法

1. 祈り

イエスの愛で愛する心が与えられるように神様に必死に祈ろう。

それを通して神様とも近くなれる。

2. パートナーシップ

イエスも弟子3人を連れて祈った。

共に愛するために戦える友人が必要。

3. 成長を追求する

人を愛するうえで常に新しいチャレンジがある。

御言葉や他の人から愛し方を学び、成長することが出来る。

4. 用心深く

サタンが愛する邪魔をしてくる。

サタンの攻撃にきちんと対処する必要がある。

・イエスがわたしたちを愛してくれたから、わたしたちも周りを愛そう。

・イエスの愛で愛することで、世はわたしたちがイエスの弟子である事を知る。

<6/17 兄弟クラス>
“Fighting the Good Fight”
Becoming A Prayer Warrior; Growing in Prayer
「祈りの勇者になる」

Mark Pichamuthu(インド)

ネヘミヤ記から祈りの力について、語りたい。

この書物はネヘミヤとエズラによって書かれた。

暗黒の時代。

民は申命記の時の神に従う心を忘れ、神様から従わないと悲惨なことになる、約束の地を追い出されると言われていた。

困難なとき、助言に立ち返る必要がある。

ダビデやソロモンの栄光の時代がおわり、祝福も終わった。

イスラエルは神様から離れ、バビロン捕囚に。民は三回もエルサレムから追い出された。

でも民は契約の地、エルサレムに戻った。

そして14年後、ネヘミヤが現れた。

神様は信仰を与えてくれる。でも、民は神様からすぐ離れてしまう。

ネヘミヤ 1:1-11

民は、バビロンからエルサレムに戻った。でも荒れていた。

あなたは故郷がなくなったらどう思いますか？

我々の子供などにとっても。故郷がないのは悲しいこと。

私たちは自分の思いでいっぱいになり、神様を忘れることがある。

でもネヘミヤは神の国を信じていた。

まず、彼は嘆いた。

ネヘミヤ書は13章ある。

重荷を取り去るためには神様と共に生きる必要がある。。

ネヘミヤの反応はそのような反応だった。

私は妻との関係で問題があると、ディサイプラーと電話する。

戦略的な反応を考えることはしない。それはプライドの罪。

祈りが大切。

数年前、娘が入院した。

そんな中で説教することになっていた。やりたくないと思った。

でも、祈って説教した。

チャレンジに面したときでも、神の偉大さがあれば、問題が小さくなる。

それを祈りで確認した。

神様はわたしたちの中で大きくなっていますか？

そうでなければ祈りましょう。

ネヘミヤは6節で自分の罪の告白をしている。エルサレムの民だけではなく。

そして王に話しに行った。神様に祈ってから、王様に話す。

祈りによって、神様のタイミングを理解する。

ネヘミヤは神様に大胆に祈った。

静かに祈る

神様を信じないときでも、静かに祈っていきましょう。

それによって神様につながる。大胆に静かに、異教徒の中でも祈りましょう。

ネヘミヤについて知る

祈る心を持ちましょう。

拒否されても御心を求めましょう。

箴言 21:1

神様が状況を、そして王の心さえも変えてくださった。行動順番が大事。

1.祈る

2.行動する。

ロブ・スキナー Rob Skinner(ツーソン、アメリカ)

祈っていないと悪い状況になる、祈っていると勝利がある。

弱さがポイント。

2 コリ 12:5-10

個人的な弱さを認めたとき、神様は働く。

チャレンジがあっても。

私達一家は東京に10年住んでいた。

インターナショナルミニストリーをリードしていたが、聖書勉強が全くない時期があった。

でも、お祈り会をやった。半年。

その間に十三人すくわれた。

基本的な祈りが大事。

なんで自分は弟子なのか？それを常に覚える。

日本に住んだ後、故郷のオレゴンに戻って教会を作った。

両親の救いのため。

百五十人の教会になった。

最近の勝利について話したい。

今、ツーソンの教会をリードしている。

東京の教会リーダーの山崎武士とは大学の先輩・後輩の間柄。

昨年、ツーソンに山崎家が訪れてくれた際に「東京の教会の成長のため、昔みたいに伝道キャンペーンが出来たらいい」と話した。

そして、それを助けてくれる弟子をディサイプルトゥデイで応募した。

応募条件は、所属教会リーダーの推薦があること、自費であること。

九人のアメリカの弟子が集まり、先週東京でアメリカ忍者グループを結成した。

一週間ひたすら伝道。毎日お祈り会。

その結果、6/12の特別礼拝2回に900人以上の人が集まり、聖書クラスに30人以上が参加してくれた。

マタイ 7:7-11

あなたの弱さを強さにしましょう。

具体的な行動：

お祈りキャンペーンを始めましょう。

毎週祈りましょう

特別に変わりたいものを決めましょう。

“Following the God Who Calls Us Friends” How to Be A Friend to All

『友』と呼んでくださる、神についていく」

—どのようにすべての人の友となるか—

Murtuza(インド), Jonson Sibuea(スラバヤ、インドネシア)

【1】 Murtuza(インド)

*ヨハネ 15：13~15

全ての人々に対して、どのように友達になれるのか、神様のメッセージを話す機会を与えられ、特権に思う。私の主イエス・キリストについてシェアするとき聖霊が私に働いてくださいますように。

質問 ・私たちの人生には友達が必要か？

・私たちは少なくとも1人の親友が必要か？

幾つかの面白い事実がある。

- ・ 16 億人の人々が Facebook を活用している。8 年間で 1 億人から 16 億人に増えている。
- ・ 1 億人以上の人々が毎月インスタグラムを使用しています。
- ・ 自殺者やうつになる人々は、彼らの本当の感情を話せる人が近くにいないと言われている。

*** ヨハネ 15 : 13~15**

想像してほしい。罪を犯さず、私たちの罪を赦すために死んで葬られ、全ての世界の審判者である神様の力によって復活させられたイエスが、あなたを友達だと思って手を伸ばされている！誰がこの友情を拒絶できるだろうか！ イエスの友情を拒絶するなんてことを考えるだけでも、愚かなこと！

15 節では、私たちのことを僕とは呼ばず、友と呼んでくれると書いてある。

私は、イスラム教の家庭で育てられた。断食して祈り、コーランを読むラマダンの月がある。実際、私はコーランを通読していた。私は、神様は人間が近づくことはできないほど遥か遠くにいと理解していた。神様は、私の主人であって、私は奴隷だと思っていた。

1992 年、インドで最悪な暴動があった。私たちは多くを失った。私は家を離れ、難民キャンプで暮らさなければならず、殺そうにさえなった。外出禁止令が敷かれ、それでも移動する多くの人々が殺害されたのを目撃した。私は何とか死を免れた。家族は生きているのか死んでいるのかさえ不明だった。

私の心は、神様を信じることを拒絶した。モスクにも全く行かなくなった。私は、なぜ人々が宗教の名の下で互いに争っているのか理解できず、困惑していた。神様を礼拝したいとは思わなくなった。

それから 5 年後、私の親友が、この教会に招いてくれた。

親友と私は一緒にあらゆる罪を犯していた。その彼が、私を友と呼んでくださる神様を紹介してくれた。

私は回心に導かれたが、厳しい家族の迫害に直面しなければならなかった。殺されそうに脅かされ、家族や知人が迫害するために教会を訪れた。私は、これらを乗り越えた勇気がどこから湧いていたのか振り返った。今は、はっきり分かる。イエスが私の友達として、常に私の傍にいてくれたということ。

真実の友はいつも傍にいてくれる。例え、私がどんな状況にいても。

イエスは当時、人々の中で共に生活した。今は私の中に聖霊がいてくださる。私たちがどのような人生のチャレンジに直面していても、罪の中に埋もれてしまっても、聖霊は私たちの元を離れない。

人間の中核となる情緒的ニーズは、愛を感じたい、ということ。なぜ愛が必要か。愛の価値とは何か。

インドでは、母親たちは料理を作ることに価値を見出している。女性は美しさ、若者は教育、男性は家族を養うことなどに価値を見出している。

*ルカ 23 : 39~43

この泥棒は、イエスに何を差し出したか。彼は教会をリードしていたか。多くの人に洗礼を授けていたか。彼には何の価値もなかったが、イエスは彼を愛した。

私にどんな価値があろうがなかろうが、イエスは私を愛してくださる。なぜなら、イエスは失われた魂に真実の価値を見出しているから。

真実の友は共にいて、どこまでも一緒に居てくれる。イエスは究極の模範。私たちが罪の中にいるときでさえ、十字架で命を捧げてくださった。

私の親友は、私と私のもう 1 人の友人を教会に招いてくれたが、友人は教会を離れてしまった。

私たちは苦しかったし、彼が戻ってくるように働きかけた。しかし、長年に渡り、何も起こらなかった。先月、私たちは彼と一緒に休日を過ごし、戻ってくるように働きかけた。彼は、まだまだの状態だが、私たちが神様を信頼し、働きかけ続ける限り、全てのことに可能性があると思っている。

自分の人生を考えてみよう。

- ・誰かと友達になる前に、その人の価値を考えるか？
- ・誰かの魂を救うために、どこまでも行けるか？
- ・十字架に架かりながらも私たちの魂を愛してくださったイエスのようにベストを尽くしているか？
- ・それとも、難しい人に対してはあきらめてしまうか。

私たちは誰かの真実の友になることができる。友のために何でもしたいと思える。

イエスは私たちに沢山の質問をする。

それらの質問は優しいものではない。むしろ、議論を巻き起こすような、チャレンジを感じるような、謙虚にさせられるような、ハラハラさせられるような質問。しかし、全ての質問は、私たちが霊的に成長できるように欠くことのできない内容。

*マタイ 16 : 13 節~17

イエスが、他の人々が何と言っているか尋ねたとき、多くの人々が答えた。

イエスは、あなたはどう思うかとペテロに尋ねると、ペテロは、救い主だ、と答えた。

イエスは今日、この質問を私たちに聞いている。自分にとってイエスは何者か、考えて答えてほしい。イエスは自分にとって、救い主か、それとも他の何者か。

私たちの人生でイエスが主であることを表しているか。

永遠の命を持つために何が必要か、2人の方がイエスに質問をしている。

ルカ 10 : 26 では、律法学者が、ルカ 18 : 18 では金持ちの青年が登場する。

イエスはまず、他の人々を愛し、お金を愛するのをやめられるか、と尋ねている。

財産に信仰を持つか、それともイエスに信仰を持つか。

私たちは Facebook で 1000 人を超す友達を持つことができる。また、社会的に多くの友人知人とつながることができる。しかし、永遠の魂の保障に関する質問をしてくれる親友を持っているだろうか。

私たちは、よく「大丈夫」と言ってしまいが、私のディサイプラーは深い質問をしてくる。私は「大丈夫」と答えられなくなる。

深い質問をしてくれる友達がいるか。あなたは質問されやすい人か。あなた自身は深い質問をする人か。

私たちは色々な人々と会いう。怒っている人、落ち込んでいる人、幸せな人、拒絶する人、高ぶっている人…。イエスも、同じような人々と会っていた。しかし、イエスは全ての人の友達になってくださった。イエスから学び、模範に倣っていく必要がある。もし私たちがキリストのような愛を持てば、イエスの元に沢山の人を連れて行くことができるだろう。

イエスの手をつないで、彼から学び、友達が必要な人々と手をつないでいこう。

【2】 Jonson Shibuea(スラバヤ、インドネシア)

スラバヤ教会をリードしている。インドネシアで2番目に大きな都市で、300人の弟子がいる。

息子は18歳で、既に洗礼を受けている。娘は15歳で、今年3月に洗礼を受けた。弟子になる前、私の両親は、財政的な問題を抱えていた。そのために、私たち家族はジャカルタのスラム街に住まざるを得なかった。周囲にはあらゆるタイプの悪があった。人を信用することは難しかった。友達もいなかった。孤独で、どこにも行き場はなかった。人生に疲れ切っていた。

箴言 18 : 24

兄弟よりも近い友…、私はこのような友をそれまでの人生で見つけることができなかった。

しかし、幸せなことに1992年に教会と出会うことができた。

私の罪を贖うために十字架に架かってくださったイエスについて教えていただいた。イエスは常に私と共にいてくださった。

イエスは私の友になりたいと言ってくださった。イエスに従う人々なら信用でき、誠実である、と確信できた。人を信頼できない私の心をは癒された。そして、神様の御国で多くの友達に恵まれた！

今、私は、この箴言に書かれている内容を理解することができる。兄弟よりも近くなれる友がいる！

友となってくださったイエスは、私たちに何を期待しているか。

*使徒 1 : 18

イエスは私たちに彼の証人になることを期待している。

私たちが今ここにいるのは、神様が愛してくださっているからであり、神様から遣わされた誰かが私たちがイエスと会えるようにしてくださったから。私は、この愛を人々にシェアしなければならない。

私は受洗後1年で、メダン・ミッションチームをリードするよう選ばれた。メダン教会はインドネシアで3番目に作られた教会。私は当時、とても若い弟子で、聖書の理解も浅かった。しかし、喜びは大きく、私はミッションに行きたかった。ミッショ

ンチームをリードして、メダンの人々にイエスを伝えた。
神様は驚くほど助けてくださり、神様を必要としている人々に出会わせてくださった。

最初は、エディソン。彼は、私たちの礼拝に導かれた。彼は教会の友人関係を喜び、聖書を学び、弟子になった。彼は、ジャヤプラのミッションチームに参加し、今、ソロング教会をリードしている。

次は、スディルマン。彼は経済的に悩んでいたが、自分の問題を話せる友達はいなかった。ある日、彼は兄弟によってアクティビティに招待された。彼は、聖書を学び、弟子になった。津波がインドネシアのナイアスを襲ったとき、スディルマンは HOPE を通して多くの人々を助けた。彼は HOPE で働き、神様がその働きを見ていた。彼らは、ナイアス教会をリードして、100 人の弟子達がいる。

そして、アウィは私の妻の兄。彼は仏教徒だった。キリスト教が好きではなかった。クリスチャンはプライドが高いと思っていたから。そんな彼も礼拝に来た。教会の友人関係に安心を感じられ、聖書を学び、イエスを受け入れ、弟子としてバプテスマを受けた！ 今日、彼はメダン教会をリードし、スマトラの 10 カ所の教会を見えています。全てを足すと 1000 人の弟子達がいる。

この世の中には、孤独な魂が沢山ある。また、不誠実な対人関係で傷ついている人もいる。イエスが、その孤独や傷に答えてくれる。

私たちはイエスの長い手足となって働こう。人々は、主を必要としている。私たちが用いられ、人々が神様の愛を見つけることができるように。

アーメン！神様に栄光あれ！

<6/17 姉妹クラス>

“Fighting the Good Fight”

Becoming A Prayer Warrior; Growing in Prayer

「祈りの勇者になる」

【2】Nadine Templer ナディーン・テンプラー

ナディーンとジャズミンは以前、インドの教会で一緒だった。お互いに人生で難しい

局面があった。

人生は簡単ではない。ガッカリすることもある。家族、金銭、仕事の問題もある。それらを祈りで乗り越えてきた。

① God is Sovereign 神様は最高権威者である

ハンナの人生も簡単ではなかった。ハンナは問題を抱えていた。子供がいないという問題。ハンナは第2夫人であつたらしい。当時、第2夫人で子供がいない状況は最悪なことだった。

1サムエル 1：9～16 辛さ、悲しさ、苦々しさ。難しい時の心境。ハンナは自分の心を注ぎ出した。

正直に具体的に出した。計画どおりにいかないときにこそ、正直に話す。

ナディーン的人生は Active、Adventure！活発、冒険の人生だった。

もちろん倒されるときがあるが、神様が一緒にいるから導いていただく。

神様に対してリラックスする。

忙しく、圧倒されるような日がある。やることが多い忙しい日に限って問題が起きる。走り回ってしまう。夜になって、QTを取っていない、祈っていない、と気づくことも。

圧倒されるときにこそ祈ろう。

ハンナは神様が最高権威者であり、王様であり、主であることを理解していた。だから、神様に頼る。神様にお願いする。神様は王様であると同時に、天の良いお父さんであるから、私の願いを叶えたいと思ってくださっている。

② We can change God mind 祈りで神様の心を変える

ナディーン家族には、5人の子供がいる。2人は養子。

4人の娘は父親であるマークと関係が近い。

神様は良いお父さん。色々な状況があっても、心を注いでリアルに自分の願いを言う。

神様の心を変えるほど必死に祈る。私の祈りで神様を影響することができる！

ハンナの祈りはそうだった。不可能な状況を奇跡的に変えてくださった。

願い…必死に願えば、神様の心を動かせる。

祈り…自分にとって大切に思い願っていることは何ですか。

イエスは泣いて祈った。あなたは泣いて祈っていますか。ハンナのような祈りをした

ことはありますか。

1 サムエル 1 : 12~13 ナディーンは“奇跡的なお願いリスト”を書いている。毎日それを祈る。祈りが叶えられたら をつける。

5 人目の子供を養子に迎えようかと考えたとき、ナディーンは既に 40 代半ばで 4 人の子供がいた。神様に委ねて、祈れば祈るほど、養子縁組の実現が近くなった。6 年間祈り、7 年目にプリシラが与えられた。

全てが叶うわけではないが、トライしてみる。祈ってみる。何年もかかるかもしれないが、神様は与えたい方で、優しく寛容な方でもある。

【2】Jasmin Pichaumuthu ジャスミン・ピチャウマス

神様を信頼すること。自分のことになると自信を持てなくなるが、神様は希望。神様の忠実さは 24 時間、私達が祈れば祈るほどに忠実。神様の忠実さについての聖句…詩篇 33、35、36 神様の忠実さを知ることができる。

① Through prayer 祈りを通して知る

使徒 17 : 24~27 何を祈ったか、どれほど長く祈ったか、ではなく、誰に祈っているか、が大切。忠実な神様に祈っている。

全てを尽くして神様を知る。まだ知らない神様を知りたい。祈りの終わりに「あなたを知れて良かった、嬉しいです」と感じられるように祈る。毎日 QT を通して神様を知ること。神様は生まれる前からチャンスを与えてくださっている。

イエスの忠実さについての聖句…ローマ 3 : 22、ガラテヤ 2 : 16、20

② Visualise to actualize 思い浮かべ、実現する

マルコ 11 : 22~24 少しも疑ってはいけない。祈りが実現することを信じる。

夢を持つ。信頼する。朝、祈ること。赦していない人を赦してから祈ること。祈りでごまかしてはいけない。偽りの赦しはあり得ない。そして、疑わずに祈ることで、イエスは私達の願いを受け入れてくださる。

(例) 困難な状況に影響されなかった姉妹

バンガロール教会まで片道 86 km の距離をバスで通っている姉妹がいた。日曜日は朝早く起きて、家事をやり、6 時半に家を出て礼拝に向かっていた忠実な姉妹だった。約 8000 人の町で彼女 1 人だけが弟子。ラジオでキリスト教の番組をよく聴いていた。10 年間祈っていた。誰か聖書を勉強してくれる人を与えてください、と。数年後、彼女の甥がたまたま土地を見るついでに、彼女に会いに来た。そして、なぜクリスチャンになったのか、と質問したことから、彼は神様に興味を持ち、救われた！当初はその町にミッションチームを送る計画は無かったが、送ることになった！

あきらめないで忠実に祈り続ける。神様は忠実な方だから、感謝して祈る。

“My Yoke Is Easy and My Burden Is Light”

Really Enjoying our Time with God

「わたしの軛は負いやすく、わたしの荷は軽い」

～神様との関係を真に楽しむ～

Weng Monje (フィリピン)

マタイ 11:28-30

くびき=責務、仕えること 「軛」はもともと従う者(牛など)につける物

ファリサイ派のくびきは重い、律法的

613 個ものくびきがあり、それを守るためにもっとルールを作った

cf. サバ(聖日)には 2000 歩しか歩けない、など

やるべきことがたくさんあった

イエスのくびきは違う！

イエスはルールでなく動機、心に訴えかける

マタイ 10:5-

弟子たちを送り出す

すべきことの指示もするが、動機を与える

ルカ 10:20

悪霊が従うことでなく、天に名が記されていることを喜びなさい

やったことの喜びでなく、動機を！

「なぜ」「どうして」をイエスは伝えた

私たちが主に動機づけてくれる

ファリサイ派かイエスか？どう思いますか？

義務だからやるべき？やらなければならないことだから？

既婚者、結婚当初は家事も下着の洗濯も喜び！でも動機がなくなると……

QT→毎日やらねば？

礼拝→毎週行くべき？

やらなければならないことではない！

神様は自由をくれている

やった？とは聞かない

愛があるから、やって欲しいから、選択肢が与えられている

私たちは愛しているから、イエスの足あとをたどりたいからやる

イエスと良い関係を持ちたいから、弟子と良い関係を持ちたいから行く

このレッスンを作りながら考えさせられた

25年の弟子、23才でスタッフ

600人以上の弟子、7つの教会を見ている、うち5つのリーダーはノンフルタイム…

…

この2年燃え尽きていた

10年リードしている

辞任するべき？と周りにも聞いていた

でも、ファリサイ派のくびきを取っていたと分かった

動機づけて荷を軽くしたい！と思った

何か重荷や燃え尽き感はないですか？

イエスは私たちが動機づけたい

イエスは休息を与えたいと言ってくれている

バリでビーチに行って、白い砂浜を見て、涼しい部屋に大きなベッド

……霊的に、そんな休息を取って欲しい

より動機づけられるためのポイント

①十字架を覚える

動機のすべてはここ

聖餐式を定期的にとるのは覚えるため

個人的な関係に感謝する

②どこから来たか思い出す

それぞれのストーリーがある

③感謝する

・リダは3年の弟子、感謝ノートを毎日5件つけている

難しい日に5件は大変

難しいときでも感謝することを続けた

心をトレーニングした

・パシは26年の弟子、シングルで53才

周りの50歳以上の姉妹3人が次々結婚した

自分の不平と感謝を書いて、それぞれビンに入れていった

感謝のビンを見るだけで励まされる！

ちょっと使い込んだクマさんのぬいぐるみ

9才の娘さんが、誕生日に他にあげられる物がないからと裏にメッセージを書いてプ

レゼントしてくれた

お母さん(Weng)にとっては宝もの

少しでも喜ばせたいと思うなら、

そこを神様は喜んでくださる！

Karen Jacques(カンボジア/アメリカ)

「Learn from me」イエスから学ぶ

旦那さんが **HOPE** で仕えていて、クリニックを担当している

Karen もカンボジアにいた

2002~2007 はアメリカで子供を学校に通わせ

2010には子供たちがクリスチャンになり卒業し結婚した
学んできたことをシェアします

マタイ 11:28 - 30

子供の頃から教会に通っていた
聖書については歴史的な出来事という以上のことは考えていなかった
24才の頃、同居している友達にどう思われているか、思い煩ってばかりいた、苦しかった
聖書について教えてくださいと祈り、弟子の友達が与えられた

年を取ると学ぶ心が減ってくる

ヨハネ 5:39-40

聖書を読むことではなく、イエスを人として知り近づこうとする心が大事

ヨハネ 5:44

人の目が気になる
恐れ、人にどう見られるかばかり思ってる

ガラテヤ 1:10

直球的な聖句！！神様や周りのことを考えたい！

マタイ 23:2 - 4

あるべき姿を追い、外側ばかり整えがち

マタイ 23:29-31

私達は、良い事はする。その心は、イエスと同じか？
やったことより動機が大事

ヘブル 1:1-3

イエスを知ることがポイント
イエスは神の栄光の現れ
イエスを動機にする！

イエスはどのように寛容、寛大だったか
イエスはいつも寛容
寛容さ→自分に無い心でもイエスを見ることで持てる

イエスのもうひとつの側面は謙虚さ
謙虚な人は自分の利益にしない、利用しない

エレミヤ 17:10

自分を知るためにもイエスをよく知る！
イエスは、自分自身のことを弁明しなかった

ローマ 6:19

動機は自分の中から出てくる

クリエイティブにイエスを見つける
柔和さを学ぶ

“Walking by Faith & You’ll Walk with Me”
Loving & Healthy Discipling Relationships
「健全で愛深いディサイプリング」

Wong Siu Wai: 香港

◎信仰と共に歩む

- ・辛い時に共に歩いてくれるディサイプラーは必要ですか？
- ・自分が人を励ませるリーダー、信仰を与えるリーダーになりたいと思ったことはありますか？
- ・すべてが整った中では、自分の信仰を見る事は難しく、自己中心的になっていることがある。→パーフェクトなディサイプラーが良いともいえない。
- ・難しい関係を通して、色々なものをつくりかえ、学んでいく事につながる。
- ・聖書の中で、自分が不公平に感じたり、チャレンジをされる時に私は相手から嫌われているのではないかと思う事があった。その心は、自己中心からきていた事を成長する中で分かってきた。
- ・自分にとって、難しい時：40 日間断食して、祈って、神様の言葉に従いたいと思ったことはありませんか？

<2 ペテロ 3:9>

- ・神様は私たちに悔い改めて欲しいので忍耐される。

- ・ 厳しい状況の中で、洗練されて成長していく。準備されていく。
準備されない中で、信仰が死んでいく事がある。傷つけあっても、愛する中で準備していく必要がある。
- ・ イエスのように愛せていますか？イエスとの関係が難しいと思う事もある。難しい時にもイエスとリアルな関係を求めますか？
- ・ 様々な関係の中で、難しい関係がある→それだけ成長していける。

私、あなたがより大きいものを探し求めていく信仰

- ・ 御国と世の中の違いは？→信仰があるかないか。
- ・ 互いにケアして、許しあい、人との違いを受け入れ合う必要がある。
- ・ ただ素晴らしい場所という事ではない。霊的な戦いをくぐり抜けている。

EX :

22歳の時にミニストリーリーダーになった。

- ・ 沢山の失敗をした。そして、完璧な答えを知ろうとしていた。
- ・ 10年間くらい、リーダーから霊的な正解を求めていた。そして、イエスからの平安ではなく、自分の心を守る為に急いで解決をしようとしていた。

<1 ペテロ 3:9>

イエスは12人の弟子の間に神様を入れている。

ディサイプラー—神—弟子

- ・ イエスは弟子たちを呼ぶ前に祈っておられた。
- ・ 弟子たちのために、神様が関与してくださるように祈られた。
- ・ 心の平安を保つとは、どんな時も神様が間にいる事
- ・ 信仰を持って自分を捨てて、コントロールをしない事が大切
- ・ 人は違いを持っている。その違いを受け入れていく事は難しいが、受け入れていく事が大切。
- ・ 自分が思った方向や選択を相手を選ばないときに、その人を受け入れるには信仰が必要。
- ・ 信仰がない時、正しい事をしようとして、急いだり、確信がないままやっている時がある。
- ・ あなたは誰か？
ポジションが変わっても、リーダーシップ、誰がリーダーでも、自分のベストを与え続ける事。
- ・ あなたに与えられた違う道もある。性格、人生の選択、リーダー、様々な人がいる。

ペテロ、イエスが選んだ 12 人の弟子、1 世紀の弟子たちも違う人ばかり。それぞれの学び会のメンバーも、性格もキャラクターも違う。

・イエスのコミュニティーは神様の関係を大切にして、神様と見て成長している事が大切。

Joyce NG: シンガポール

◎主と共に歩む

・イエスが 2 人の弟子と歩いている場面。

<ルカ 24:13~>

・弟子の人生は、この時暗闇だった。イエスを救えなかった事。復活に対して信仰がなかった。

・2 人はガッカリして歩いていた。

イエスはどの様に歩いたか。

1) ギアアップ (準備する)

・旅に行く時に準備する

・イエスが自分から来てくれる。

・ほとんどの弟子が信仰を捨ててしまった。イエスにとってはとても悲しい時であったが、イエスの方から歩いて近づいてきてくれた。

・イエスは、復活後イスラエルで他の事が出来たかもしれない。しかし、イエスはその 2 人を元気付けたいと思い、近づいてきてくれた。

・イエスはエルサレムから来たのに、文句を言うことなく、共に歩いてくれた。

・私たちは罪人なので自然にしていると人を愛することができない。

・自分はこっちの道が歩きたいと言ってしまう事がある。罪人の私が、人を愛する為にプライド、不信が出る事もある。準備して気を付けていく必要がある。

・どれ程愛する為に不十分でも、準備が足りなくてもいい。

例)

22 歳の時、既婚者で 2 人の子どもがいて、仕事をしている姉妹をディサイプリングした。

・リーダーからは、どのようなプランを持って姉妹を助けることが出来るか聞かれた。

→『聞く事』から始めた。とても忙しい姉妹だったが、空き時間に会いに行ったり、きちんと時間を過ごした。それから 2 年間彼女とは DP だったが、今でも親友の 1 人。

・イエスが私の模範

・イエスの弱っているミニストリーでも同じだった。個人的なつながり、ギアアップ、

自分と神様との関係

2) 旅

<ルカ 24:17-26>

- ・イエスは時間をとって一緒に歩んでくれた。
- ・自分の不信仰な時も、ネガティブな事も聞いてくれた。イエスは真実が何であるのかを知っていても許してくれた。

<ルカ 24:27>

- ・ネガティブな事を話させた後、聖句から整えた。
- ・共に歩く優しさ→真実を語る
- ・聖句に従えない人に対して、自分も悔い改めがあった。御言葉に自分も頼る必要があって、御言葉を聞いて聖書から教えられた。主との関係について学んだ。
- ・人の心をキャッチするには、御言葉が1番。御言葉に学んでいく。
- ・弟子がミスをする時、自分が出来ない時程、聖書に頼っている。聖書によって励ましていく。

3) 最終目的地

<ルカ 24:28-32>

DP タイム

心が燃えていた時

イエスが2人と共に歩き、泊まり、イエスは消える。

- ・いつもそばにいて、ニーズを満たすディサイプラーの私に従うのではなく、そこから消える事。

<ルカ 24:33>

- ・彼らはイエスから十分な信仰をもらい、イエスが消えた後自分でエルサレムに行き、自分の口で伝えに行った。喜びを持って、信仰をもって、エルサレムに戻って伝えた。
- ・一人で出来る事、エンジンをスタートさせること、自分でできる事は小さい。御言葉から励まされて歩いていく事。

<6/18 クラス セッション 1>

“I Have Decided To Follow Jesus; No Turing Back”
Being a Radical Campus Follower of Jesus
「イエスに従う大胆なキャンパスの弟子になる」

●Wee Keong (シンガポール)

このような言葉を聞いてどう思いますか？

- ・価値のある Worthwhile
- ・インパクトのある Impacting
- ・人生を変える Life-changing
- ・素晴らしい Awesome

わたしたちはこのような言葉が大好きで、

わたしたちは“普通”が好きじゃない。

モーセ…決して特別な人でなかったけれど神様によって選ばれた

マリア…自分の特別な子どもを授ける女性なら特別な女性でもよかった

<使徒言行録 4:1-13>

普通であることを受け入れたい。神様は普通の人を選んでいることが示されている。
けれど…私たちは普通の生活をつまらなく思ってしまう。

☆勇気を持った“普通”の人(使徒 4:13)

Wee Keong さんは伝道が苦手だった

- ・あるとき大学の講義前に 500 人もの生徒の前で伝道をした
電車の中の全員に向かって伝道をした
他に恐れるものはないと思えたときにやりとげられた

○逃げるのではなく自分の罪に向き合うことが大切

☆素晴らしい福音をもった“普通”の人

- ・神様から選ばれたものとして神様の力を信じていますか？
自分の信仰を持つのではなく、神様の言葉に信仰を持つ

・友人で 23 年前に勉強をした人が再び教会にきて 5 か月の勉強を経てバプテスマを受けた

「23 年前のあなたの言葉がずっと残っていた」

☆愛を持った“普通”の人

- ・いろんな人、好きでない人いるけれど愛する。

あなたがいくら愛情深い人でも愛することを学ばない理由にはならない。

・(使徒 3:1-9)

ペトロとヨハネは心も体も痛みのある人を愛する。偉大な愛はすべてを愛する。

シンガポールキャンパスは‘愛する文化’を大切にしている。

普通の日々のなかでメッセージカードを送ったり、兄弟姉妹のフォローを欠かさない

○祈りで嫌いな人の行動は変わらないかもしれない、けれどその人のために祈りましょう

☆“普通”の人でも謙虚な心を持っている

・(使徒 4:3)

最終的に神様を信じていたから牢にはいった

・ベスト尽くしても思い通りにいかないことがある

けれど神様がコントロールしてくれることを信じる

●Joyce Ng (シンガポール)

～洗礼者ヨハネ～

特に奇跡を起こしたわけではない。首を切られて死んだ。イエスのためのメッセンジャーだった。彼はその役割を最後まで果たし、イエスが来たときにその役割を終えた。最後まで謙虚だった。御国はそのように作り上げられている。

○人生の一度にはその人にあった特別な機会が与えられている。そのタイミングを気づかないのはただただ惜しいこと！

●Rob & Pam Skinner (ツーソン、アメリカ)

大胆な弟子になるには何を見ていくことが必要か

☆大胆な回心 Radical Conversion

わたしたちは世にいて救われていなかったもの、死に値するものだった

<箴言 9:10>

救いが必要だったと憶え続ける

Rob さんの大学時代の‘最悪な日’のシェア

…神様のコントロールのもの毎日は自分ではコントロールすることできない

<1 テモテ 15:16>

○自分の改心を思い出す、救われていないものだったことを憶える

☆大胆な確信 Radical Conviction

あなたは高慢ですか？ Yes

<箴言 16:18><レビ記 26:19>

Pamさんはミニストリーリーダーになりたかった、人によくやっていると思われた
かった

人に心に入ってもらうことが必要だった

☆大胆に恐れと向き合うこと<マタイ 14:27-29>

イエスが十字架につけられ死んだからこそ、私たちが恐れを抱くことはない。
恐れを打ち勝つことが必要。どういう恐れと向き合わなければならないですか。

紙に書いてください

- ・なにを恐れていますか
- ・なにを避けていますか

☆大胆にイエスに集中する Radical Concentration on Jesus

<フィリピ 3:7-9>

神様の動機で動かされること

○あなたの決心は何ですか? What is Your Decision?

イエスについていく決心

友人や家族とか誰がどうすることはなにも関係ない

ただ自分がついていく決心をする

“I Have Decided To Follow Jesus; No Turing Back”

Being a Radical Single Follower of Jesus

「イエスに従う大胆なシングルの弟子になる」

- ・全てを癒し、仕えた 75パーセントが貧しい人に仕えた、だから光
- ・イエスはシングルだった
- ・イエスは「あなたは世の光、あなたが光」あなた個人に伝えた。
- ・私達の世の中は暗闇です
- ・10年前より戦争、問題は倍になっている
- ・でもここはお互いに愛している。違いを受け入れて、愛し合う、赦しあう
- ・ここの人達はそれすら学び続けようとしている。だから世の光
- ・私たちはそれを伝えている。
- ・どうやって? 人生でみせている

- ・世の光、隠れられない
- ・他の人のあなたの良い行いを見るために。
- ・

ブディ・ハルトノ（ジャカルタ・インドネシア）

- ・あなたは何かを変化させられる
- ・冒険も仕えられることもできる
- ・パウロはシングルでした。シングルとしてイエスについて行くことを理解していた

フィリピ 3 章 13-14

「決意をすることに勇気を持とう」

- ・前に進むことを決心した。
- ・過去に捕らわれない
- ・いつも求めていた、
- ・諦めずに前にすすみ続けた。
- ・疑いなどは前に進む事には必要ない
- ・質問；本当に決心していますか？
- ・一つの事にイエスと言って、もう一つにはNOといっている
- ・両方欲しいなら決意してない
- ・フィリピ 3 章 4-8
- ・イエスの働きがあるから自分はなんでも捨てられる
- ・イエスをもっともつていたら
- ・彼は理解していた。両方持つことは不可能
- ・ヨシュア。イスラエル、神様に仕えるのか？それともほかに仕えるのか？
- ・二人の飼い主はいない、イエスは「誰に仕えているのか？」
- ・蛇口、両方付けたら生ぬるい
- ・世の中の価値観、イエスに従う。生ぬるい
- ・イエスに従うのにイエスなら他のものにノーと言わないといけない
- ・自分の居心地のいいところから抜けないといけない
- ・神様の義を求めるなら、世界の価値観にノーと言わないといかない
- ・人生は決心の連続
- ・一つの決心が必要
- ・心を尽くして決心し、夢を見ましょう

フィリピン 3 章 14

- ・パウロはゴール、天国に行くことそこに勧め続けた
- ・あなたのゴールは？神様の夢は？

- ・もっといい仕事？金銭的なモノ？結婚？色々価値観がある、良い事、でも神様のゴールはあるの？
- ・どうやってそうやって成長できるか？
- ・どうやって霊的な面で成長したいのか？考えていた？
- ・霊に貧しい人はもっと欲しい、もっと聖書を知りたい、祈りに関する信仰、祈りの戦士
- ・やりましょう。そういうゴールは本当に特別です。
- ・私達の人生はそのゴールのまま進みます。
- ・一つの質問：去年に比べて、今年はどういう風が変わってきているのか？
- ・ゴールがミッション、ボランティアなら、そうなる
- ・そのゴールがなかったらもったいない
- ・同じように神様の実を結ぶことをしましょう、神様の夢をもちましょう
- ・決心と夢が人を変える
- ・決心して夢を持ちましょう。

ホンホン（ジャカルタ・インドネシア）

- ・神様に遣われたい、神様に仕えたい
- ・彼が自分の為に夢を持ってくれている事
- ・聞く態度がないと何も学べない。沢山質問して、どういう風に愛しているのか？
- ・この状況で何を神様は学ばせたいのか？
- ・マタイ 10 章 5-6
- ・失われた羊の為にいきなさい、あなたたちの様な人の様ところにいきなさい

第一テモテ 6 章 6

「満ち足りているか？」

- ・本当に満たされていなければ、神様からはなれる率がたかくなる
- ・なぜ？パウロの秘訣＝心を尽くして神様に仕える、
- ・神様から満たされる。それが重要フィリピ 4 章 11-12
- ・満足する事、それは学ぶ必要がある。
- ・自分の人生には問題がある。そこから満たされる？
- ・パウロは必ずプロセス＝勝利とチャレンジを通して＝当たり前ではない＝探す必要がある。
- ・イエスに心をつくして追いかける
- ・神様の様になることで十分なら神様のようになるなら満たされる
- ・満ち溢れる事を邪魔するのは＝自分の欲

- ・満足する事は悔い改めが必要
- ・悔い改め時その時神様は正しい道を教えてくれる
- ・プロセスを始めましょう

「満ち溢れる事は永遠に続く」

フィリピ 4 章 11-12

- ・満たされ時と満たされてない時、ここに架かっているのはどのような状況でも満たされることが出来る
- ・自分がどういう状況だろうが影響されない

詩編 151 章

- ・これは満足してないお祈り、結婚出来たら、ステディが出来たら、お金が入ったら
- ・わたたちが満足できることはこんなことではない
- ・私達はもってるもので満足しません、シングルでも満足できる
- ・満足することを探しましょう
- ・面白いのは、既婚者でも満足できていない。これでは解決できると思わない
- ・一つ満足する事、その邪魔をするものは情の欲を持つこと
- ・中身のない人生、そこの無いコップ
- ・でも、満ち溢れた価値観があれば、世の価値観は問題ない
- ・イエスに従おう
- ・満たされることは優秀

フィリピ 4 章 13

- ・神様に頼れば何でもできる。状況がどうであれ、イエスがいれば何でもできる
- ・世の中の成功は満たさない、神様と満たされたいときはみたされます。
- ・満たされた時、神様の為にもっと仕えたいと思う
- ・邪魔になるものが全部消える
- ・神様の為の成功
- ・フィリピ 4 章
- ・この秘密を学び続けましょう
- ・絶対に共にこのことを学ばなければいける

“Fishers of Men Will I Make You”

What's It Like to Be A Full-Time Fisherman?

「人をとる漁師にしよう。 ～フルタイムの漁師とはどのようなか?～」

シヨーン・ウーテン (キエフ、ウクライナ)、ハーレム・サリム (インドネシア)

<ショーン・ウーテン>

クリスチャンになったときに、フルタイムになった。

働いていようと何していようと。

フルタイムじゃないから十分にやっていないと思うのはちがう。

マルコ 9:33-

イエスが座り、十二人を呼び寄せて言われた。「いちばん先になりたい者は、すべての人の後になり、すべての人に仕える者になりなさい。」

イエスは偉くなることを否定しなかった。

神様のために働くことはすばらしい

フルタイムになるべきなのか?

マルコ 10

シェア

無神論者から、

2回目の聖書勉強で、フルタイムになりたいと思った。

弟子になって一年後ミッション

使徒 9

すると、主は言われた。「行け。あの者は、異邦人や王たち、またイスラエルの子らにわたしの名を伝えるために、わたしが選んだ器である。

わたしの名のためにどんなに苦しまなくてはならないかを、わたしは彼に示そう。」

アナニアへの言葉

神様が使ってくれるように苦しみたいと思った。

何が起こっても

イエスが受けたような苦しみの機会を探していた。

家族、クラスメイト14人が弟子になった。

ウクライナミッションチームつくるためにモスクワに行った。

ウクライナのことはいっさい知らなかった。

行ったら、死ぬ覚悟も必要だと言われた。

もっと真剣になるように、

モスクワ17人 国外退去させられた。

いろんな教会が退去させられて、残ったのは私たちの教会だけだった。

でも喜んでいた。

カンザスの教会に戻って、フルタイムになろうと思った。

母に話した。ウォールストリートの仕事をあきらめる。

母に話すのはカウントコストだった。

母は涙した。

父にも話した。

本当に福音が必要で、神様がキエフに呼びたいならそこに行く。明日別のところに行けというならそこに行くことを伝えた。

人を救いたい。

パブリックスピーキングができなかったが、今できるのは、いのりつづけたから。

父は沈黙した。

<レナ シェアリング>

19歳

ソビエトで育った。

国が開かれてきた。

もっと大きな人生のことがあるのではと思った。

91年に教会に誘われた。ミッションチームモードだった。104人目。

モスクワの姉妹。まわりはロシア人ばかり。

もどってもいいんだと言われていたけど、彼女は残ることを決心した。

悔い改めた数日後に私を誘ってくれた。

ソビエトの圧政下で傷ついた人がたくさんいた。

ミッションチーム 100%献身する姿を見た。

彼らのようになりたいと思った。

人がどうではなく、神様がベストに用いる場所をご存知。

<ハーレム・サリム>

釣りにいったことがある人

漁師の人

これはだいぶちがう。

シカゴで、クリスチャンは宗教的な人だと思っていた。
弟子になった。
インドネシアにもどって、フルタイムになりたいかと聞かれてた。
フルタイムスタッフはかわいそうな人だと思った。
釣りに行くのはいい、でも漁師にはなりたくなかった。
本当に怖かった。
悪い態度をとった。興味をなくさせたかった。
シンドラーズリストの最後のシーン
なぜこれをやっているのか。少しでも多くの人を救うために。

ルカ 10:2

そして、彼らに言われた。「収穫は多いが、働き手が少ない。だから、収穫のために働き手を送ってくださるように、収穫の主に願いなさい。

インドネシアにもどったら、フルタイムになったらどんなコストを払うかわかっていた。

だから、神様に願い求めなくてはいけなかった。
神様ご自身が、働き手になるよう送る

①勤勉に働く覚悟をする Willing to hard work

2 節

そして、彼らに言われた。「収穫は多いが、働き手が少ない。だから、収穫のために働き手を送ってくださるように、収穫の主に願いなさい。

どれくらいいたみがあるかわかっていた。

ハードワーク。

神様に頼らないとできない仕事。

②リスクをとる覚悟をする Willing to take risk

3 節

行きなさい。わたしはあなたがたを遣わす。それは、狼の群れに小羊を送り込むようなものだ。

羊としているのではなく、狼のなかに送る。

フルタイムになって3ヶ月

脅しの電話があった。

それをやりたいか？

フルタイムになりたいかときかれたとき、

本当にリスクをとる。

③軽装で旅をする覚悟をする Willing to travel light

4節

財布も袋も履物も持って行くな。途中でだれにも挨拶をするな。

荷物をもっていかないことを求められた。

リストアップした。 子供の教育。。。

いったん捨てなくてはいけなかった。

④長い期間留まる覚悟をする Willing to stay for a long haul

5-7節

どこかの家に入ったら、まず、『この家に平和があるように』と言いなさい。

平和の子がそこにいるなら、あなたがたの願う平和はその人にとどまる。もし、いなければ、その平和はあなたがたに戻ってくる。

その家に泊まって、そこで出される物を食べ、また飲みなさい。働く者が報酬を受けるのは当然だからである。家から家へと渡り歩くな。

とどまり続ける覚悟

うまくいかないとき、隣の芝生は青く見えるけど、そこにとどまり続けられないといけな
い。

美しい芝生を提供されたことはあるけど、とどまった。

もっと楽に、快適にじゃない。

⑤緊急性を持つ覚悟をする Willing to be urgent

8-12節

どこかの町に入り、迎え入れられたら、出される物を食べ、その町の病人をいやし、
また、『神の国はあなたがたに近づいた』と言いなさい。しかし、町に入っても、
迎え入れられなければ、広場に出てこう言いなさい。『足についたこの町の埃さえ
も払い落として、あなたがたに返す。しかし、神の国が近づいたことを知れ』と。言
っておくが、かの日には、その町よりまだソドムの方が軽い罰で済む。」

時間がある訳じゃない。毎日人が産まれて死んでいる。

イエスが来る日まで限られている。

毎日福音を伝える覚悟があるか。

毎日緊急性をもつ態度をもつ

⑥権威を持って語る *Speak with authority*

16 節

あなたがたに耳を傾ける者は、わたしに耳を傾け、あなたがたを拒む者は、わたしを拒むのである。わたしを拒む者は、わたしを遣わされた方を拒むのである。」

イエスの権威を与えられている。

人に拒まれたら悲しいと感じるし、その度に自分が変わるべきところはあるけど、イエスを伝えて拒まれるなら、その人は神様を拒んでいる。

神様は選んだ。

昔、無駄な時間を使っていた。みんなを愛さないといけないと考えていた。

でも、

私は多くが時間を過ごしたいと言ってくる。でも多くの人に対してノーと言わないといけいない。

受け入れる人を探さなくては行けない。

⑦天に名前が記されているから喜ぶ

Rejoice because your name is written in heaven

17-20 節

七十二人は喜んで帰って来て、こう言った。「主よ、お名前を使うと、悪霊さえもわたしたちに屈服します。

イエスは言われた。「わたしは、サタンが稲妻のように天から落ちるのを見ていた。蛇やさそりを踏みつけ、敵のあらゆる力に打ち勝つ権威を、わたしはあなたがたに授けた。だから、あなたがたに害を加えるものは何一つない。

しかし、悪霊があなたがたに服従するからといって、喜んではならない。むしろ、あなたがたの名が天に書き記されていることを喜びなさい。

天に名前が記されていることだけで喜ぶ。

天に名前が記されていることより、用いられていることを喜ぶ誘惑がある。

<バニア シェアリング>

ミニストリーに入ることは、両親にとって屈辱だった。

2年間ハーレムと話すことを拒否された。教会で働くためにアメリカに送った訳じゃないと言った。

子供の学校の時期が来たとき、自分達が受けたよい教育を子供にあげられないことはチャレンジだった。

でも神様は考えてくれていた。

教育とか家とか以上に。

娘ふたりは、フルタイムになりたいと思っている。

ミニストリーは、神様が見えない形で働いている。神様の力。

やらなきゃじゃなく、神様に動機付けられて。

境界線をひく。

ミニストリーにいと、むりやりでも成長する場所を与えられる。

トラベルライト

変化を受け入れないといけない。

“Indescribable Joy” Parents of Children Aged 0-10

「言い尽くせない喜び ～0～10歳の子供を持つ保護者～」

山崎武士・真奈美、ビンセント&ジェーン・シム夫妻（シンガポール）

1. ビジョン

申命記6：6－7

私達の子供達は神様につながっているべきである

そのために子供達をビジョンをもった/意図的な子育てをする必要がある

○ビジョンを持った子育て VS ×その場しのぎの子育て

1コリント3：12－13

ビジョンを持った子育てをするためには

1. A. 正しい価値観を与える

正しい神様の価値観を与える

例) 日常会話の中で、「あの虹きれいだね。誰が創ったか知っている？神様が創ったんだよ！なんて素晴らしいことだろうね。」

- ① それぞれの子供達との時間をとる
ファミリーディボ 共に食事をとる時間
- ② 子供に問題がある時、正しい価値観を教えられる機会だととらえる
- ③ 子供が悪いことをしたとき、そうさせている原因が何なのか考える
- ④ 子供の衝突の問題解決に携わる

1. B. 正しいキャラクターをつくる
霊的な価値観を与える必要がある

2. 従わせる

エフェソ6：1－4

子供が親に従わないということで命にかかわる危険な目にあうこともある。

子供が親に従うということはとても重要

従うようにトレーニングさせましょう 子供に諭す時は・・・

- ・声を荒げるのではなく、いつもの口調で
- ・神様に集中して/神様の視点で
- ・敬意をもって

3. 感情

子供が感情をプロセスし、親と繋がれる/受け入れられてると感じるよう手助けする

- ・共感
- ・シェア/共有
- ・神様

“Secure and Sound” Parents of Children Aged 11+

「安心感と健全さ 11歳以上の子育て」

ジョン・カレン ルイ夫妻

今まで話してきた子育てと、基本原則は同じだが、子供たちの成長に伴い、親がどのようにその基本原則を扱うかが全く異なる。

私の娘は現在 24 才、幼い時と子育ての基本原則は同じ。

親がこの基本原則を子供の成長と共にどのように扱っていくか、それが子育ての一番の難しいところ。それをこのクラスで話していく。

一番の問題は、親が子供の扱い方を上手く移行できないこと。

ある親は子供への接し方がずっとダイレクト(直接的)。子供が 8 才くらいまでは、それで子供はハッピー、親もハッピー。

が、ティーンになるとそうはいかない。息子は帰宅して親の顔を見るなり、ブスツとしてフンツと言う。親はそれを見て、キーッ！！となる。

父親「親に対してそんな態度があるかー！会社でもそんな態度の同僚はいない。教会でもそんな扱いはされない！なのに、この家では(涙)！！」そこで妻のせいにしたり、学び会のせいにしたりする。矛先が周りに向く。

問題はあなたがどのように移行するのか分かっていないこと。

【1】 どのように移行していくのかを学ぶ

基本原則として、中核的感情欲求は続けて満たしていく。その上で、子供への接し方を移行させ、順応することが重要。子供の成長に伴って、親がどのように接するか変えていく必要がある。

<エペソ 6：4 子供たちを苛立たせてはいけません>

以前から自分の娘と息子に“お泊りについてのガイダンス”(家族のルール)などを丁寧話し合った。

—主がしつけ諭されるように育てなさい(4 節)。

NIB 編 KJB 編 CJB (クリスチャン ユダヤ バイブル) 編の訳を読むと、「exasperate 苛立たせる」と「nurture (give milk ミルクを与える) 育くむ・育てる」という言葉が出てくる。

生活において Exasperate 苛立つ(憤慨する)ことが習慣になってはいけない。聖書で子育てについて明確に書かれている箇所は 2 ヶ所(コロサイ 20：21)のみ。しかも内容は同じ！！

だから exasperate(苛立たせる)と nurture(育てる)という言葉はかなり研究した。聖書が用いる言葉で、安心感を持てるので、この言葉を使う。この単語の意味は 20 人なら 20 通りの違う答えが返ってくる。

Nurturing とは——「これをしたらダメ」「これに近づいたらダメ」ではなくて、「こうしたら健全だよ」と、何が健全かを示していくこと。

では、健康になるには何をしない？ 体に良くないものは食べない、タバコを吸わない、酔っ払わない。

これらをやらなければ、健康になれるか？ 答えは「NO (ノー)」

では、健康になるには何をやる？ 体を動かす、健康的な食べ物を摂る、健全な友達をもつ、よく寝る。

(“GEP ほどよい子育て” は「〇〇しない」ことが書かれている。今回は「何をやるか」にフォーカス)

11 才頃からは子供の自律を尊重する必要がある。

多くの親の DNA は 1 つのタイプしかないよう。それは子供をコントロールしたがる DNA。

幼い頃は従わないとスパンキング(おしりペンペン)。でも今は、子供はあなたよりデカイ！！もう、おしりペンペンはできない。代わりに大声を出す？「コラー！従えー！！！」(笑)

11 才以上の子供と話す時選択肢を挙げるとよい。言葉を変えて話す必要もある。

例えば、「今週、君と話したいことがあるけどいいかな。君がそれをどう思うか意見を聞きたい」など。

ある親は言う。「前はこんなことを言わなくても子供はちゃんと私に従っていた。あ！あの時は違うリーダーが近くにいてくれたからだ。あー、問題はそれだ！！メンターも今は違うし！！」

問題は、親が学んでないこと。同じギアでしか運転していない。11 才以上はギアを変える必要がある。車はずーっと止まらずに走っている。でも、親の言葉と態度を変える必要がある。自律を尊重する。

カレン——娘が 11 才の頃、「今晚、学校の友達(ノンクリスチャン)の家に泊まりたい」と突然、出先から電話で告げられた。以前から子供とは、お泊まりのガイダンス(家族のルール)を丁寧に話し合っていた。が、その泊り先はカレンが全く信頼していない家庭であること、娘が色々なことに多感だったこと、また口論したがる時期だったことから、カレンの心の中は、不安や恐れで悪い想像がグルグルと膨らんでしまった。ただ娘に「どうしてそういう話になったの？」と理由を聞けば良いだけだったのに、

「行きたいなら地獄でもどこへでも行っちゃいなさい！」と叫んでしまった。「ママ、どうしちゃったの？」と娘の声で我に返り、「ごめんなさい、少し祈りに行ってくるわ」と言って電話を切ることができた。

【2】 自律に基づき責任を与える

ジョン— 娘ソニアが13才の時、突然、自分の部屋の壁をペンキで塗り替えたいと言ってきた。ジョンは、「どこか汚れている？」と。ソニアは、「どこも汚れてはいないよ、ただこの色が好きじゃないの」(Allow me to separate 子供との意見の違いを受け入れる) ジョンは「この色はパパの大好きな色だけど」と。ソニアは「パパが好きでも私の好きな色じゃないの！」と。(Allow me to make own decision 子供の決定事項を許す) ジョンが「じゃあ、どんな色がいい？」と尋ねると、娘は「派手な赤」。それを聞いてジョンは気絶しそうになった。「あの部屋は地獄に落ちるに違いない！」と思った。

罪ではない。ただ、彼女は成長しているだけ。それだけ。

親がすることは grant autonomy(自律の容認)。grant(容認)とは許可を与えこと。それだけ。

娘は部屋を明るい派手な赤に塗り替えた。ジョンが「絵はどこ？」。娘が「ドアの後ろだよ」。ジョン「誰が描いたの？この肖像画は君かい？」。娘が「そうよ。学校の友達が私を描いてくれたの」。なかなか良く描けていた。そして面白いことに、娘が家を出た今もそのまま。娘が色を塗りたと言い出した時、ジョンは心の中で「いいよ、5年くらいで娘が家を出たら、あとは塗り直せばいいや」と思っていたのに。

だから、Autonomy (自律) を尊重し、子供の成長に伴い親の発する言葉 (話し方) を変える必要がある。

子供と話そう！子供が話したいことを (自由に) 話せるように。

しっかりと話し合う必要がある4つのカテゴリーがある (これらはGEPに書かれている)

1. 道徳 Moral (ものの善悪、嘘など)
2. 習慣 Conventional (社会的標準)
3. 個人の好み personal(髪型、服のタイプ、壁の色)
4. 健全性 prudential(安全に関わること)

道徳と健全性に関わることは重要で、特に話す必要がある分野。習慣と個人の好みは子供に任せる分野。

伝えなければならないことは伝える。例えば、

◇お酒を飲んでいる仲間の1人が運転する可能性があるパーティーに行きたい。

⇒完全に「行ってはダメ」と言える。安全に関わることだから。

◇50代くらいの成人もいるパーティーで、ボクと一緒にいく友達は飲まないから行かせてほしい。

⇒危険が伴わないので、子供の判断を信頼すべき。(子供によって違う場合もある)

【3】 子供の自律をサポートする

- ・親は、私を知性や能力があるかのように接してくれる。
- ・親は、私を応援してくれる。
- ・私にとって大切に思うことを成し遂げた時、親は誇りに思ってくれる。
- ・チャレンジのある目標に立ち向かう時に、親は成功できると信じてくれる。

自律をサポートすることは容認とは違う。容認は「やってもいい？」ということに許可をすること。

サポートとは自主性を促進すること。「君なら成功できるよ」「あなたは才能があるよ」「賢いよ」と伝える。多くの親は、容認はするが、促進はしない。放任主義な親は「いいよ、やっつけていいよ」と容認はするが、サポートしない。親は促進もする必要がある。

しかし、親は子供をコントロールし過ぎる。そうすると、逆に子供は、自分は出来が悪く脳力がない、と思い込んでしまう。子供が大切な場面で成功した時には、「誇りに思うよ！」「よく頑張った！」と褒める必要がある。特に、アジア人の親は、子供が良い成績をとっても褒めない。

40人のクラスで成績でAを取ったら、親は「クラスでAを取った人は何人？」と聞く。「Aは10人いたよ」と子供が答えると、親は「Aって言っても大したことないね」と言う。

このような言葉を、実際に親は言っている。親が他の面でどんなに頑張っても、子供は親に感謝する気がなくなるし、親の言うことを跳ね返したくなる。

親が子供に「何をサポートすればいい？」と聞き、子供が「〇〇を助けてほしい」と

言ったら、その面で子供が成功できるように助けることがベストである。

何を自分に問いかけないといけないか。

- ・話す言葉を変えること。
- ・「何をサポートしたらいい？」と子供に聞くこと

勉強の面でも同じ。息子ディビットは12才くらいから勉強を頑張らなくなった。向き合って話す時間を持たなければならなかった。苛立たせない、爆発しない、と自分に言い聞かせて息子と向き合った。

13、14才くらいの息子と以下のような会話をした。

ジョン「成績が良くなりたい？」

息 子「うん」。

ジョン「パパは何をサポートできる？」

息 子「分からない」

ジョン「数学は？」

息 子「数学は大丈夫。数学はパパより得意だと思うよ。ルービックキューブを45秒で完成できるよ」

ジョン「じゃあ、やってみて」 ※30秒で直してしまった！

ジョン「よし。パパよりすごいな。理科はどう？」

息 子「パパはエンジニアだから、理学は助けてくれたら嬉しいかも」

ジョン「英語は？」

息 子「ママに助けてもらうよ」(ママはアメリカ人)

ジョン「分かった。じゃあ、パパが助けるのは1つでいいんだね。理科だけだね」

もし、私が息子に何が助けられるか聞かなければ、全てに関わろうとしていたと思う。そういう親のお仕着せがましい態度に子供は「ウワー！」と苛立つ。それでは上手くいかない。正しくサポートする。

時々子供と意見が分かれるが、子供の意見を尊重してサポートする。

娘(ソニア)のケース。

娘は小さい頃からテニスを習っていた。9才の時、10才以下のトーナメントでシンガポール国内1位になった。14才まで良い成績を納めて頑張っていた。娘は14才になる前に弟子になった。娘は弟子達と行動することも好きだったし、色々な活動に参加することも好きだった。勉強も好きだった。娘が15才の頃、演劇部に入った。彼女はとても忙しくなり、全てをこなすことは難しかった。

私(カレン)が娘によく伝えていたことは、「やりたいことをやってもいいけど、全部はできないよ。休む時間を取らないと精神面にも響くよ」と。娘が10代の頃、よく掛けた言葉は「良く寝なさい！」

娘「ママ、私、勉強してるんだけど」

カレン「睡眠もシッカリ取ったほうが勉強もはかどるよ。だから、もう寝なさい」

私は、娘の睡眠時間が少ない時は、学校の1時間目の授業を休んでまでも寝る時間を確保させた。

その後、娘はテニスを諦めて、演劇を選んだ。ジョンと私は娘が7才の頃からテニスに出費してきた。

ジョン「おー、思い出させないでくれー！何十万円もの出費！！」(笑)

親の本音は、「テニス諦めちゃうの？やめないでよ。いくら費やしてきたと思ってるの！！」

しかし、夫と私は「娘を支えるって決心したじゃない」と話し合い、自分たちの気持ちをグッとこらえ、演劇部をサポートした。

ジョン「正直、まだ色々な気持ちがあるよ！」(笑)

カレン「でも、良くやったことは、その気持ちを娘に隠すことができた！」(笑)

ジョン「今日は隠せないよ！！！」(笑)

娘が小学生の頃、国語の先生が娘について「読書はそんなに好きではないですね」と言った。カレンは大の読書家。だから、子供達が幼い頃から本に触れさせてきた。毎日読み聞かせをし、絵本を読ませ、好きな本は買ってやり、図書館にもよく連れて行った。が、娘はテニスばかりやっていた。カレンは「私の娘なのに全然本が好きじゃない！」と泣いた。ジョンは娘の素質を理解して、「ねえ、9才の君はソニアとテニスで対決できる？」「できない」とカレン。ジョンは、「だよ。読書は君が得意なことであって、ソニアにとって得意でなくても、それは大丈夫なことだよ」。

ようやくカレンも理解し、ソニアがやりたいことをやらせた。

面白いことに、結果として娘は英文学が大好きになり、ロンドンの大学で英文学を専攻するまでになった。神様の冗談かと思う。今では親より読むことも書くことも優れている。

良かったことは、親が悔い改めて(笑)サポートすることができ、娘も、自分がやりたいことを親にサポートをしてもらえた、と思えたこと。

親がやりがちなのは、子供のやりたいことを「やっていいよ」と承諾しても、内心は不満があり、顔が怒っている。怒った顔でどうやって子供をサポートできるのか？

私達はソニアが演劇をやること決めたので、心からサポートした。ジョンは演劇はあまり好きではなかったが、娘の出た舞台は全て観に行き、その全てをビデオにとり、家ではその録画を一緒に見直した。これは娘との良い思い出になっている。

【4】情緒的に養育し、無条件に愛する

- ・親は、良い成績を目指したい科目の勉強を教えてくれる
- ・何か質問をしたい時、親は時間を空けて何でも話せる雰囲気を作ってくれる
- ・予定していない時でも、親は一緒に出かけ、ただ時間を過ごしてくれる
- ・親に気持ちをオープンに話せる
- ・親に不安なことを打ち明けて安心できる
- ・親に自分の色々な気持ちを話したい時に自由に話せる
- ・互いの感情を深いレベルで理解し合っている
- ・子供を一人の人格として見てくれている
- ・意見が違っても、時間を取ってくれ、子供の考えを理解しようとしてくれる

以上が情緒的に養育し無条件に愛するということ。

多くの親はフレンドリーで外面は良い。

親 「おはよう！」

子供 「うん」 (暗い)

親 「何か助けが必要なことある？」

子供 「別に」 (つっけんどん)

上記のような会話をしても、それ以上の情緒的養育に至らない。

- ・親は、良い成績を目指したい科目の勉強を教えてくれる
- ・何か質問をしたい時、時間を空けて何でも話せる雰囲気を作ってくれる

情緒的養育と無条件の愛の1つめ、良い成績を目指したい科目があれば、子供を訓練しなければならない。ただ温かいハグをするのではなく、子供を訓練させること、導くことが重要。

ジョンはよく息子とスケジュール管理について話し合った。今後7週間の予定を立てさせた。

ジョン「一番やりたいことは何？」

息 子「サッカー！」

ジョン「他は？」

息 子「バドミントン」

ジョン「他は？」

息 子「バスケ」

ジョン「全部やっていける？」

こうしてやりたいことを話し合った。全部こなすのは難しい。だから導く必要がある。勉強に関しても話し合う。

ジョン「どれくらいの成績を目指したい？正直でいいよ。怒ったりしないから」

息 子「英語はCでいいけど、あとはAを取りたい」

ジョン「A！じゃあAを取るには、その範囲のどのくらい理解しないと取れない？」

息 子「とてもよく理解しないとダメ」

ジョン「その科目の1つの単元を理解するために、週どのくらい勉強する必要がある？」

息 子「…」

ジョン「5時間とか10時間とか、自分ではどのくらいだと思う？」

こうしてジョンが助ける科目のスケジュールリングを助けていった。試験の3ヶ月前には、1日どれくらい勉強時間が必要か話し合った。このように一緒に歩み、最終的には、息子は自分で選択した。息子は、英語の成績はCで良かった。

ジョン「パパは英語は助けられないから、Cを取れるようにママに助けてもらって」
(笑)

- ・ 予定していない時でも、親は一緒に出かけ、ただ時間を過ごしてくれる
- ・ 親に気持ちをオープンに話せる
- ・ 親に不安なことを打ち明けて安心できる

これらがどれほど重要なことか、言葉では表せない。GEPでも、子供1人につき週

に1回 個別に時間をつくることの重要性を話しているが、まだ実行していない人がいる！

親が子供と話したいのは何か説教をしたい時だけ？レクチャーしたい時だけ？習い事に連れて行く時だけ？教会に行く時だけ？ただ時間を過ごすことが大切。信じられないくらい大切なこと。

子供を敬うことも必要。息子はアメリカの大学に通う 22 才。シンガポールの徴兵制度のため 21 才で大学に入学した。周りは 18、19 才の学生ばかりで既にガールフレンドがいた。ある時、息子が言った。

息 子「僕にもガールフレンドがいたらいいのに」

カレン「そうね、好きな姉妹はいるの？」

息 子「まだいない」

カレン「じゃあ、まず好きな姉妹を見つけないとね」

息 子「分かっているよ。どうしたらガールフレンドを見つけられるかお母さんと話したいな」

カレン「いいわよ。じゃあ、この夏帰ってきたらじっくり話そう。私がキャンパス時代にデートに関して学んだことをシェアするわ、もしあなたが聞きたいならね」

息 子「もちろん聞きたい！」

息子はジョンにも相談を持ちかけ、ジョンはジックリ時間をつくった。カレンも息子と 3 時間近く話した。楽しい思い出の時間になった。

カレンが息子にシェアしたのは、デートの楽しさ、重要なことは何か、など。また、カレンは「あなたは一緒にいて楽しいし、霊的だし、若いし、みんな、あなたと時間を過ごしたいと思っているわよ！私だったら、沢山の姉妹とデートして、深い話しをして、相手と知り合うわ。そうしていくうちに、誰がベストマッチか分かってくるわよ。最終的に、誰とであっても、あなたが神様に栄光を返すカップルになるように、あなたが生まれてからずっとお祈りしてきたのよ。たーくさんの姉妹と楽しいデートをしてね。すぐに判断してステディになろうとするのではなく。焦ると、沢山の姉妹に知り合えないからね。ステディになるな、とは言ってないわよ。今アメリカに居る間に色々な姉妹と知り合うことはいいことよ。あなたがやること何でもサポートするわ」

シンガポールでは1年のうち1週間は徴兵される。徴兵の間、息子は友人に、母からデートについて助言をもらった、と話した。一般的に、親とデートの話はしない。友

人は「自分の親もそういうアドバイスをくれればなあ」と言った。クリスチャンの親子ならでは、のこと。

この友人は以前、息子が「結婚するまで貞淑でいる」と話した時、ひどくバカにした。徴兵の期間に、2時間このことについて議論した後、息子が「もう眠くなったから休ませてもらうよ。でも、最後に、この世の中に僕のような人がどのくらいいるかな」と聞くと、友人は「なかなか君のような人はいないよ」と言った。そして、2年後の今回、彼らは、自分の親もアドバイスをくれたらなあ、と言った。

カレンは「えー！何言ったの？もしかして私が言ったこと全部伝えたの？」(笑)

親は、子供は親からのアドバイスを欲しがらない、必要としていない、と思ってるが、実はそれは違う。だが、まず子供が感じるべきことは、親からの無条件の愛と受け入れ。それを感じることができれば、アドバイスに聞く耳を持つ。

・親に自分の色々な気持ちを話したい時に自由に話せる

ある親は、仕事のように全てにアポが必要。子供にも「今から？アポなしで？」いつでも自由に話せるようにする。ジョンは家でもかなり忙しく働いているが、子供が部屋に入ってきた時には、話せるように意識している。どうしても忙しい時は子供に伝えて、後に子供との時間を持つ。時々、ジョンは自分から子供部屋をノックして入る。「何してる？」と。そして、一緒に遊ぶ。それにより、子供は親との時間を自由に持てると感じられた。

息子をドライブにも誘う。「今からちょっと買い物に行くけど一緒に来る？」

アポで時間を過ごすのは情緒的養育ではない。

・お互いの感情を深いレベルで理解し合っている

多くの父親は子供とのつながりが弱い。これは母親の役割と思っている。GEPでどのように子供の気持ちをプロセスするか述べた。子供を養育するにはこれができる必要がある。

○自信と克服

息子に、安心感が持てる時はどういう時か聞いた。息子は「自親から自信を感じる時」と答えた

親が何の本を読んでいるか見せたり、何について成長したいと思っているかを話したりすることは大切。

11才以上の子供は親を見ている。「すごい、パパはもっと成長しようと学んでいる。パパは変わってきた！」「ママが変わった！」子供は親がどの分野で変わろうとし

ているか理解している。

あなたの霊的さに自信を持っているか？ あなたは言われることをするだけで自信を持っていないのではないか。霊的な面でも成長しよう。子供と共に克服しよう。

○遊び

11才以上でも遊びは必要。20代の息子にジョンは冗談を言う。冗談は効果的。特に父親は、子供に自分を尊敬させることには熱心だが、楽しくジョークを言い合う時間がない。

ただ、移行期間は必要。

子供が幼い時、日曜の礼拝後、シンガポールの公園に毎週のように行った。そこで長い滑り台を一緒にすべったり、かくれんぼをしたり、疲れるまで走り回ったりした。一緒に楽しく遊んだ。

13才になり、子供は「パパ、もうかくれんぼはいいよ」と言った。「じゃあ、何する？」と尋ねると、娘は「コーヒー飲みに行きたいな」

子供の成長と共に、過ごし方が変わっていった。息子とは、よくバドミントンを一緒にした。9才から始めて、16才の頃は息子に勝てなくなった。何年も、汗をビッシヨリかくまでバドミントンをした。よく5セットマッチをした。一緒に楽しんだ。これはとても良い思い出。

ある親は子供と幼い遊びを一緒にするのが嫌う。ある父親は「私はアウトドアタイプではないから、そんな遊びには付き合えない」と言う。

息子とバドミントンをした後、互い自分の罪を話したりもした。どうしたら成長できるか。落ち込んだこと(low)についても話した。親子で清くあり続けることも話した。今、言えることは、それらの時間はとても良い時間だった。互いに楽しみな時間だった。

○信頼性

- ・親は、私にとってそれがベストな計画なら、進んで変えたいと思ってくれる
- ・親は、私のことを何があっても見捨てない
- ・親は、頼れる。責任を持ってくれる
- ・親は、約束を守り、私のために犠牲をしてくれる

「私は親を心から信頼できる」と子供が言える。「私を置き去りにしないし、私が最も難しい時に共にいてくれる」

父親として自分の難しい状況は脇に置き、子供に向かう。子供に集中する。分断した心で子供と接してはいけない。子供との時間が終わってから、また自分の問題に戻れば良い。多くの親を見て悲しいと思うことは、自分の問題にフォーカスしながら不安なまま子供との時間を過ごしていること。子供は、パパとママを困らせてはいけない、パパとママは問題があるから、とってしまう。

○本質的な価値

とても大事であなたの心について。

- ・ ないものでなく、与えられているものに感謝する
- ・ 財産や地位が幸せを生むのではない
- ・ 勝ち負けよりも大事なものがある
- ・ 財産や地位が人をつくり上げていると信じていない

これらはとても大切なこと。GEP以降の研究で分かってきたのは、親の価値観が子供に影響を与えていることだった。

もう一度聞きたい。大金を持っている人が本当には幸せでないと思っているか？うなずいているが、本当？本当にそう信じているか？では次の質問。子供の霊的な状態を気にしているか？子供がQTを取っているか分からない。教会に友達がいるか分からない。誰と仲が良いか気にならない。が、学校の勉強はスゴク気にしている。霊的であることより学歴や経済力に価値を置いている。教会を休んでも大したことではないと思っている。特別献金をミスしても大したことではない、と。

あなたの心が分かる。あなたにとってクリスチャンとして人を助けることは大切か？あなたの予定表を見れば分かる。「ええ、教会で人を助けています」。教会は、霊的さを深めて互いの賜物を活かして励ましを与え合うところ。クリスチャンは日頃から人を助けるべきだと信じているか。クリスマスだけ？誕生日だけ？子供は親のスケジュールで分かる。家に沢山の人を招いているか？子供は親が何を気にしているか分かる。カレンの親は裕福。子供も知っている。親の側からお金をくれる時は受け取っている。が、カレンが親に言った言葉にビックリした。カレンは父親に「博物館やチャリティに全財産を寄付しても構わないわよ」と。ジョンは「そこまで言わなくても…」と思ってしまった。(笑)

ジョン「受けたら感謝しなさいって聖書に書いてあるよ！」(笑)

子供もカレンの言葉を聞いていた。

カレンは父親に「お父さん、私は充分よ。お父さんの思うままでいいからね」と。

子供が7、8才の時、霊的な面で「シェパーディング チャイルド ハート」という本に助けられた。シンガポールは教育に熱心。高成績は当然。学校の先生に成績のことばかり言われて、洗脳されかかっていた。でも、この本でどう子供と話したらいいか、親の心が変わらないと話す言葉も変わらない、と学び、助けられた。この本が言っているのは、＜マタイ 22 : 37-39＞全てを尽くして神を愛し、隣人を自分のように愛する。

これを心から信じているか。

それとも、クラスで1位の成績を取ることに熱心で、それに加えて、願わくば神様を愛すること学んでほしいと思っているか。またはスポーツでトップになり、それからクリスチャンになってほしいのか。良い学校を出て、優秀な会社に就職して、裕福になって、良いパートナーと結婚してほしいのか。

子供は実際、親の言うことではなく、親が信じていることを真似する。

＜6/18 クラス セッション 2＞

“Secure and Sound” Parents of Children Aged 0-10

「安心感と健全さ 0-10歳の子育て」

ジョン・カレン ルイ夫妻

聖書には子育ては2つの命令しかない

どうして2つか。

GEPの原則は誰でも理解できるが、実践はチャレンジング。

エペソ 6 : 4

(NIV KJV CJB ASV それぞれの比較) exasperate nurture について子どもに何をすべきか。子どもをいらだたせない&養うとはどういうことか GEPの本では、いらだたせない関わりについて映画や漫画を引用してかいてあるので。

今日は、養う関わりについての話をします。GEPのアップデートです。

例えば 健康についてジャンクフードを食べない、飲み物に砂糖入れすぎないなどやってはいけないことだけを守っていても健康にはなれない。

健康になるために積極的ポジティブに行わないといけないこともある。

運動、睡眠など

子育ても同じです。何を積極的に行えばいいか
今日は研究から見つけた8つのことを時間の許す限り話します。

1) Autonomy Granting 自立

親と自分は別ということ 健全な自立を養う

どちらかになりがち～放任しすぎるか、コントロールしすぎて拒絶されるか。

健全な自立を与えていく、自由を当然に思わせないこと。

いつどのような自立を与えるかは親のほうが決める

親に従うのが好きで自立を要求しない子もいる←育てやすいと安心しないで助けな
いといけない。

長女は意思の強い子なので、制限が必要だった。何でも自分でやりたがった。

娘にはダメということと自由を与えることをいつ自立を与えるか決めないといけな

かった。髪の毛はOK。でも不適切な時は介入する。境界線をひかないといけない。

幼い時は、直接的に教えることです。ずっと直接的でなく、成長につれて、ギヤを変
えていく必要がある。小さいときは、服を○か○か○から選んでね。8～9歳 映画
見たいとき、○か○ならいいよ。

0～6歳は親に従う 直接的に、あなたが、権威に従うことを教える。従わなかった
ときは結果を与え、しつけの機会とする。どの服を着るか、家に帰ったら何をするか、
いつ食べるか。親が決める。小さい子育ては疲れるけどマラソンなので忍耐である。
支持的、従わせることを教える。誰が権威か教えて、その上で自立を与えていく。年
齢とともに調整していく。

2) Autonomy Support 励ましを与える 自立的サポート

子供の「やりたい」ということを、やらせるとき。できると信じてサポートしてあげ
ているか。たとえそう見えない時でも、才能があるものとして扱っているかどうか。

娘が3年生の時、フルートを習いたいと言った。すでにピアノを習っていた。フルー
トは難しいので心配したが。好きになると信じていた。

どうやって彼女をサポートするか考えた。安いフルートを買ってきて与えるときに約
束した。「このフルートをあげるから、3か月やってみて、好きでも嫌いでもいい。

いやだったら売ってお金を返して」→1か月で飽きた。好きじゃなかった。娘は3か
月がんばった。これを通して忍耐することを教えたかった。「「ほらやっぱり、ママ
言ったでしょ」」とかは言わない。

母は本が好き。娘にも本を好きになってほしくていろいろアプローチしたが、子供のころ娘は本よりテニスが好きだった。今では本を読むようになったが、神様は私に娘をコントロールしないよう教えてくれた。

子どもが何が得意か、いろんなものを経験させてあげる、経験させていたら賜物があるかも。ただし子どもを圧倒させないことが大事。週に10個は圧倒します。

娘にテニスをやらせていたら、9歳でチャンピオンになった。15歳でクリスチャンになり、学校の勉強で忙しいとき。テニスをやめて演劇をやりたいと言った。

父親としては、今までテニスに時間もお金もつぎ込んできたから。すごい葛藤。がっかり感はんばない。すねる気持ちを飲み込んで、親として演劇をサポートすることにした。関心を持たないとサポートすることにならない。親の選んだことでないことでもサポートをする。

あなたの自分のやり方を押し付けていたら、子どもはいらだちます。「子どもを誇りに思うこと。それをどのように子どもに示しますか？」結果よりも努力に心を払いましょう。

試験が終わったら、結果が出る前に努力を褒めてあげましょう。具体的に。

結果でなく努力に報いてあげる。子どもに心を注げば注ぐほど結果がついてきます。

「あなたには能力がある」と信じて伝えてあげること

3) Emotionally Nurturing & Unconditional Love 情緒的育成と無条件の愛

子どもが小さい時から、1対1で時間を過ごし、今週は何をしようかと。

スケジューリングすること大事。1時間くらいの時間。絶対にこの時間はいらだたせてはいけない。

次回から過ごしてもらえなくなる。

幼いころは、よく公園で4～5時間遊んだ（妻を休ませるため）

話さなくてもいいから一緒に居て、最初気まずくても大丈夫。最後は楽しくなる。

2歳からはじめて、ぜひ習慣にしてください。今日はあなたと時間過ごす日だよ。

兄弟がいても1対1で過ごすを守ることで特別に愛されていると思わせること大事。特に幼い子は、自分よりもほかの兄弟が好きと思ってしまいがち。

ささいなことでもいいので1対1で過ごす。「今日何やりたい？」心を開いてくれる時間。

大きくなってからは、学校で成功するために必要なことを教えてあげていた。

・時間を過ごしてもらえる ・理解してくれる時間・情緒的な養いをしてくれる時間

意見が違ってても理解してくれようとしてくれた経験のできる時間

寝るときに子どもたちが心を出すときも付き合ってあげてください。親が小さかった頃の話をしてあげるとよい。おかしな話を20くらいリストアップしておく。次どおしたの？何したの？興味ある話をしてあげると子どもは喜び心を開いてくれます。

4) **Confidence&Competence** 子どもにできるんだという自信を与える。

子どもに物事を成し遂げる能力があると、安心と自信を育てること

私が悪いんだと親自身が自信がないと子どもは不安になる。

親自身が、自信があってできるんだと思うように助けてもらってください。

5) **Playfulness** いっぱい遊んでふざけてあげる

遊びはお父さんのほうが上手です。コミュニケーションはお母さんが上手

6) **Dependability** 信頼性 親は頼れる存在であること

言うことはコロコロ変わらない。約束は守ること。

娘は私が彼女のためにベストを与えると知っているのも、そのために彼女の計画を変更することになってもかまわないと思っている。

7) **Intrinsic Worth** 本来の価値 確信について

不幸より感謝。勝敗よりお金より価値があること。

価値観を本当に信じていますか？

学校の成績より、心のこと。世の中で成功することより、隣人を愛すること

どちらを気にかけているか。(GEPの霊的な価値観のところに書いてある)

子どもはいう言葉より行動見てる。何をどちらを伝えているか。

8) **Realistic Expectations** 現実的な期待

親がルールを決めるは大事。ただしルールでがんじがらめにしてはならない。

“Indescribable Joy Parents of Children Aged 11+

「言い尽くせない喜び ～11歳以上の子を持つ保護者～」

Larry&Grace Wong (アメリカ) /Chem Yang&Yvette Leow (シンガポール)

ポイント1:自分がどうなりたいか、ではなく自分が何者であるかを知る

私たちは皆バプテスマを受けた時に、イエスのようになりたいと思ってはいたはず。自分が何者であるかを知った。

子育ても同じ。何をするかではなく、自分が何者であるかをまず優先する。これを理解していないと子供を混乱させてしまう。私たちは普通にしていると、自分が育てられたように子供を育ててしまう。自分の経験を投影させてしまう。聖書の価値観に基づいて子育てができない。だから自分が何者であるかを知ることが重要。子供に自分が何者であるかを脆弱に伝える必要がある。

大切なことは、確信を伝える前につながる。子供が一番欲しいニーズは、「愛を感じる」ということ。Feeling love is connection. 愛を感じるということは、つながる、ということ。

子供が小さい時はしつてもダイレクトにできる。(率直にダメと言いやめさせたり etc.)

しかし、子供が大きくなると、愛の伝え方を考える必要がある。子供も日々頑張っていて闘っている。様々なプレッシャーを感じている。いつもベストを尽くそうとしている。そんな大変な状況の中、親だけが唯一彼らを受け入れ、またチャレンジができる存在。

子供が二人以上いる場合、比較するのは簡単。

しかし一人一人たとえ肉の兄弟姉妹でも性格はちがう。もし、一方が一方よりも愛されていないと感じていたら？それはとても悲しい。悔い改めて、接し方を考える必要がある。子供が欲しい形で、愛を感じる形で愛を伝える必要がある。子供一人一人にあった時間の過ごし方をする。

ポイント2: つながりは、橋

想像してみてください。飛行機で緊急事態が発生。酸素マスクが降りてきた。まず、誰の身を守り、マスクを着けるか？→正解は親。まず、親が身を守れていないと子供を守れない。

申命記 4:9-10

まず親自身が自分を見つめることが大切。
世の中の価値観がたくさんある。たとえば、

苦しいことを話さない文化

他のものでまぎらわす文化

親のようにふるまってしまうこと

これらの価値観から逃れるには、イエスに従うということが最善の選択。

箴言 20:5

つながりが深いと橋は広くなる。霊的なものをたくさん与えられる。

つながりが浅いと橋は狭くなる。伝えられることが限られる。

子供とどのような橋を築いているか？

1 コリ 11:1

親はお手本であり、子供はよく見ている。

Q:マチュアに育つためにどのように育てるか？

A:子供の心を一緒にみる。聖句から一緒にプロセスする。親の霊的さが最も重要。

Q:子供の心が聖書勉強の準備ができていない時は？

A:一緒に祈る。

日常的に聖句からシェアをする。

ポイントは神様とつながり続ける、ということ。

弟子の規準

Values→霊的に妥協しない

Attitude→神様に対する心

Behavior→弟子としての振る舞い

永遠に価値があるものに focus する。

親として子供から attention を取る。様々なまわりの目が気になる時も、何よりもまず子供の心に一番の focus を持っていく。霊的な価値観を教え続ける。忍耐する。

考えて欲しい。数年後子供たちに何を覚えていて欲しいか。霊的な価値観？それともいつも怒られたという記憶？

コミュニティーの力をかりましょう。アドバイスを求めましょう。自分のことを客観的にみしてくれる他の人の目が大切。

ゴールは、バプテスマを受けることではなく、弟子として死んでいくこと。

**“I have decided to follow Jesus; no turning, no turning back”
Radical Followers in the Jubilee Years (Empty Nesters, Mature
Singles, Golden)**

「ジュビリーイヤー（子供が巣立った親、成熟した独身者、シニア）
の大胆な弟子たち」

テックミン&パトリースリー（マレーシア）

ターナー&エリザベス・シン（香港）

ここにいる人たちは成熟した弟子。ここから何処に進むのか考えているかもしれません。皆さんは次のような気持ちかもしれません。

- できることは全部達成した
- この先自分がどこに行ったらいいかわからない。幻滅している。破れた夢。
- まだまだ力強く行動できるけど、この先何をしたらいいかわからない。
- 今燃えていて、さらに燃えたいと思っている
- 親で、子供達が巣立ってしまった、大学に行った。この先は？

あなたはどんな痛み、落胆を感じているのでしょうか。

あなたの心に重くのしかかっているものは何ですか。

- 破れた夢
- 教会で受けた傷
- 常に結婚関係で問題がある
- 子育てや家族の問題
- 人に従って来たのでリーダーに幻滅している
- 自身の辛い過去

1. 自分の傷みに対してバーナブルになる

ヘブライ 4 章 14-16 節

イエスは弱さに同情できる方、すべての点で私たちと同じように試みにあわれた。

パトリースが助けたある姉妹。

リーダーで関係が 4-5 年良くない姉妹がいる。彼女は自分が霊的にどのくらい落ちているかわからなくなっていた。気づきのためのワークを数ヶ月やった。彼女は相手に傷つけられた感情は覚えていたけど事実を覚えていなかった。自分の傷みが何か心を見て兄弟、姉妹に話す必要があります。それから先に進みましょう。

2. 神様への感謝を新たにす

申命記 4 章 7-9 節

イエスに対する情熱を再燃させる

テックは 24 歳のとき、一人が好きで、人に関心がなかった。

- クリスマンになっていなかったら、自分の人生は次の判断材料に基づいてどうなっていたか。例えば、自分の性格、24 歳でクリスマンになる前に自分はどんな感じだったか、どのような家族の中で育ち、何を見て来たかなど。
- 24 歳の時の性格はどのようなようだったか。
- 他の人の感情に気づかず無関心で、孤独を愛し、自己中心でプライドが高かったなど。

ヨハネ 10 章 10 節

わたしが来たのは羊がいのちを得、またそれを豊かに持つためです (life to the full)。

豊かで意義ある人生。

神様は私にハッピーでいてほしい。

御国のために自分の賜物を使う。

ヨハネ 15 章 16 節～、

イエスは、私たちが実を結ぶように選び出してくれた。

神様は私たちに幸せでいてほしい。自分の人生を喜ぶこと。趣味、自分にとって大切な事をやる。価値を置くことをやる。

1. 神様: 神様に対する最初の愛をよみがえらせる
2. 関係: 配偶者、子供、親戚、友人に対する愛を新たにし、深め、強める
3. 個人的な成長: 新しいスキルを習得する。神様に仕えるために自分の賜物を使う
4. コミュニティ: 昔の夢を思い出し、新しい夢を燃え立たせる (ミッションとホープ活動)
5. リクレーション、余暇、健康: 以前の趣味にまた取り組み、健康的なライフスタイル楽しむ

自分が一番好きなことをやる (楽しくて霊的なユースミニストリー)

教会のために自分の賜物を使う (HOPE の英語クラス)

家族を作り、人をインスパイアするために自分の賜物を使う

ヨハネ 15:8

多くの実を結ぶ人生

テックミン達は、ジョンから 2014 年に弱っている教会、Ipoh Mission Church に行って教会を元気づけるように言われた。自分たちだけで言葉の通じない所に行かないといけな。でも、50代に入っていて、若い人みたいにできない思いで不安だった。

テックとパトリースは自分が好きな事でリーチアウトした。パトリースは英語ができるので、ホープで英語を教え始めた。そのお陰で大学でクリスチャンフェローシップを開くことができた。

50歳の今の方が、知識がある。

教会が必要なものをあなたは持っています。

シーラという姉妹の話。

3人の子供を持っていてクリスチャンになった。

旦那さんはクリスチャンになったけど教会を離れてしまった。

シーラはミッショントリップに行くためにお金を貯めている。自分が持っているものを与えたい心がすばらしい。シーラがミッショントリップに行くことで(子供がいて、旦那さんがクリスチャンじゃない、それでも与えたい彼女の姿を見て)他の人は言い訳ができない。シーラは一週間ミッショントリップに行っただけでその教会に変化が起きた。

あなたが神様のコミュニティを示すのです。

あなたがミッションで教会を訪問することで、その教会に信じられない変化が起こります。

ここからターナー&エリザベス・シン (香港)

70代で元気に、45-55歳をターゲットにしたミニストリー(Ministry of life Minus)をリードしている。この年齢の人は多くの悩みを抱えている。学び会には、多くのビジター(エグゼクティブ等)が来る。

最後テックミンからの言葉。

健全じゃない質問をしないこと(don't ask unhealthy question)。

例えば、どうして自分の子供は教会を離れてしまったんだろう?等。

適切な質問をすること。

私にとって今何をすることが重要か。

“I Will Fear No More For You Are Close”
Adventures in Missions Stories from around Asia
「アジア中のミッションにおける冒険談」

パキスタン : Shakeel

- ・キリスト教信徒を狙った自爆テロが直近でも2回ほどあった。
 - ・ 2016年のイースターでは、死者70名、340名が負傷した。
(公のデータなので、実際はもっといたと推測される)
 - ・警察に守ってもらうよう申し出たが、却下された。
 - ・自分たちの警備は自分たちで行うよう武器を用意せよと言われた。
 - ・金属探知機を用意して、毎回、礼拝前は入館者のカバンチェックを実施している。
 - ・集会場の建物には5~7名の警護要員を配置。
 - ・危険人物が来たら、1名が助けを呼び、2~5名で対応、1名は武器で対応するための要員。
 - ・この様な状況であっても教会（弟子たち）は集まることを止めなかった。
 - ・現在、パキスタンでは300名近い弟子たちがいる。
 - ・恐れ（=命が危険に及ぶ恐れ）は、私たちを支配しない。
 - ・パキスタンは気温が45~47℃にも及ぶ。
- その中で、老若男女の弟子たちは喜んで長時間交わっている。
- ・現在、警備員の1人の男性は聖書勉強中。

ベトナム : Quoc Hung Tran

- ・毎週の火、木の18:00~23:00は伝道のための時間というように決めている。
- ・ミッションチームを出す上で必要な要素：

①Mature enough （霊的に成熟していること）

教会の人数が100名を超えることが一つの目安

②Send off by a Team （家族として送り出されること）

一つのミッションチームは最低でも14名～16名（既婚者 3カップル）で構成されること
とシングル兄弟5名、姉妹5名
5分ほどでそれぞれの家に行けるくらいの距離

③Rich city （比較的経済状況の良い街）

経済が疲弊している場所は、心もクローズ

④Meeting （ミーティングを実施する）

ミッションチームに行きたい人たちで、何度かミーティングを持つ

⑤Interview （面談を実施する）

ミッションチームに行きたい人たちをグループ面談する

経済的に安定しているかなど確認する

チームとして健全かどうかなど確認する

- ・6か月間、現地へ出向いて探索し、現地で食事をし、ビジョンを描く

この部屋の中で何人の人がミッションチームに参加したいか？

ベトナムでは100%全員がミッションチームに行きたいと手を挙げる。行きたい人が多すぎて、何度も面接して、断らなければいけない。皆のミッションへの心がすごい。

中国 西(China West):Jeff Wong & Joseph Yang

- ・中国のある兄弟がテレビに出た。

彼はエイズに冒されているまだ若い兄弟。

貧しい地区で病にかかり、彼がコミュニティー(公には言わないけれど兄弟姉妹)にどれほど希望をもらい、助けられたかが中国で放送され、人々は感動した。

- ・中国のミッションチームで出会って最近結婚したカップル。奥さんは25歳上！
たくさんのカップルがミッションチームで出会って結婚している。中には国際結婚もある。素晴らしい姉妹に出会いたいなら、中国でミッションに参加してください！とのこと。

- ・中国で大富豪の女性が救われた。

巨大な遊園地やリゾート地を所有している。

彼女はみ言葉によって、従業員や人との接し方を悔い改め、学んでいるところ。

タイ： Sokoun Chanpreda

タイでは、パキスタンと対極で、人々は

「ブッダは素晴らしい。キリストもグレート。モハメドもいいね。」と全てを寛容に受け入れるが、本当に神様を求める人は少ない仏教国。

そんな中でもグッドニュースがある。

・もともと海外(ベトナム？インドネシア？)出身で、タイに長年住んでいた夫婦が聖書をタイの教会で勉強してバプテスマを受け、故郷に戻っていった。

・パキスタン出身の人がバンコク滞在中タイの教会で勉強して救われた。

私たちの社会はオープンではないけど、タイ在住の人がいたらぜひ紹介してほしい。私たち教会は弟子を作り訓練して、その人たちを自分たちの国に弟子として送り返すことができる！

<特別セッション>

「プレシャス ウーマン Precious woman」

テーマ聖句 イザヤ44：4a

キリスト教は多くの女性が描かれています。

夫が妻を愛さなければならぬ。女性が尊ばれている。

他の宗教にはないこと、特別です。

1、旧約聖書から学びましょう。

・ルツ1:1

見知らぬ土地へ行く事、怖いと思いませんか？

ルツ1：4-18

夫が亡くなり姑について行き引っ越す。ここにルツの思いは描かれていません。

ルツ1：20

ナオミは動揺した。

ルツを故郷で紹介する事もできたでも透明人間のように扱った

(いるのにいないように扱う、アメリカのブラックユーモアです。)

霊的によくない状態だった、神様の愛が感じられない。

人生は時折難しい。そう感じませんか？

多くの物を持っているのに、不満ばかり口にしていますか？

インドネシア人の信仰を見てきなさいと言いたくなります。

この場面では、ナオミよりルツの方が大変だと思いませんか？

この時代に夫をなくすという事は地位、金銭に加えて大変。それでも姑について行き、見知らぬ土地に来た。

ルツよりナオミの方が態度が悪い、ナオミにとって最悪な頃でした。

二人の関係から学びましょう。

あなたがルツだったらどう思うか？

試練の時ルツの方が悪い態度になれたのにナオミの方が悪い態度になった。

あなたはルツとナオミどちらですか？

2、マルタから学びましょう

・ヨハネ11:1-27, 37-39

弟が死にそうとイエスに知らせる。ベストフレンドの頼みなら行きますよね。

すぐには（イエス）は行きませんでした。

マルタはイエスに友達のように話している。上司に話すようではない。

神様は友達なのです。

どのくらい祈っていますか？

神様に祈り、友人関係でいましょう。

ドアが閉まっても、必ず他のドアが開きます。楽しくないですか？

・ルカ10:38-42

短く、小さい話、女性としてはこういう傾向ありませんか？

楽しいことに心奪われて、見失っていませんか？

交わって、神様の話をしたかった。マルタ病にかからないように、

一番大切にすることは神様と神様の人（兄弟姉妹）と時間を過ごすようにしましょう。

・使徒16:13 ルデアは紫布の商人、成功者で忙しいが祈っていた。神様を愛しているから教会に行く。神様を愛しているから賜物を活かして、宣べ伝える。成熟した弟子は自分の賜物が何かを考えてそれを活かす。

教会に仕える事、よい仕事をする事でもOK。

与えられたものを教会に使っていきましょう。

教会は女性が必要です、成熟した女性が仕えて下さい。

教会を若い人に任せようと思っていないませんか？→心は若いですよ？

あなたたちは教会に必要です！！